

# Floorスタンド組み立て手順

elo



E421325 ELO-STAND-SELF-SERVICE-15-22-FLOOR-TOP4

E797162 ELO-STAND-SELF-SERVICE-15-22-FLOOR-BASE

下記モデル対応版

ESYXXi2-2UWB-0-MT-ZB-4G-1S-W1-64-BK-NS

ESYXXi2-2UWC-0-MT-ZB-4G-1S-W1-64-BK-NS

ESYXXi5-2UWD-0-MT-ZB-8G-1S-WN-64-BK-NS

ESYXXI1-2UWD-0-4G-6E-AQ-GMS-BK-NS

ESYXXI1-2UWE-0-8G-6E-A14-GMS-BK-NS

備考)XXは15あるいは22

# キットの内容: E421325 ELO-STAND-SELF-SERVICE-15-22-FLOOR-TOP4

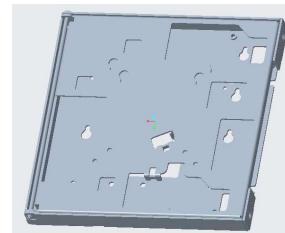


トップ部  
Qty. 1



Windows PC用  
ディスプレイブラケット  
Qty. 1

Android PC/タッチモニター用  
ディスプレイブラケット  
Qty. 1  
備考) VESA75mm/100mm対応  
実物の色はWindows PC同様黒です。  
ESY15i1rev.D/ESY22i1rev.Dにに対応する  
ためカット部が旧仕様より多くなっています。



Android PC/タッチモニター用  
ディスプレイブラケット

Qty. 1

備考) VESA75mm/100mm対応  
実物の色はWindows PC同様黒です。  
ESY15i1rev.D/ESY22i1rev.Dにに対応する  
ためカット部が旧仕様より多くなっています。



ストラップ  
Qty. 3



USB Hub  
Qty. 1



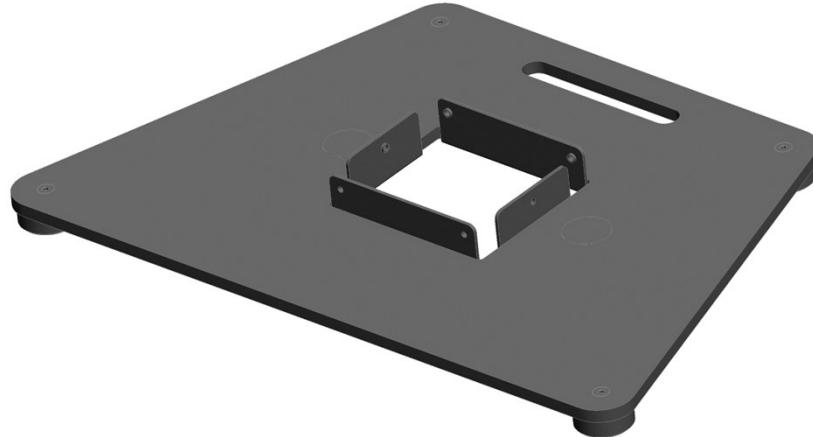
ケーブルタイ  
Qty. 2

**注意)**本ユーザーガイドの色は、  
実物の色とは異なります。

ネジ Screws		
Bag A	Qty.10	SCREW, M4X8, PAN-HEAD, CROSS-RECESS((+)なべねじ,M4)
Bag B	Qty.4	SCREW, M4X8, FLAT-HEAD, CROSS-RECESS((+)皿ねじ,M4)
Bag C	Qty.3	SCREW, M3X8, PAN-HEAD, CROSS-RECESS((+)なべねじ,M3)
Bag D	Qty.4	SCREW, 3mm X8L,THREAD-FORMING, PAN-HEAD((+)なべタッピングねじ,3mm)
Bag K	Qty.6	SCREW, M5X10, FLAT-HEAD, CROSS-RECESS((+)皿ねじ,M5)
Bag L	Qty.4	SCREW, M4X6, PAN-HEAD, CROSS-RECESS((+)なべねじ,M4)
Bag M	Qty.4	SCREW, M4X18, PAN-HEAD, CROSS-RECESS((+)なべねじ,M4)
Bag N	Qty.4	SCREW, M4X12, PAN-HEAD, CROSS-RECESS((+)なべねじ,M4)
Bag S	Qty.3	SCREW, M4X5, PAN-HEAD, CROSS-RECESS((+)なべねじ,M4)
Bag U	Qty.1	DOUBLE-SIDED FOAM TAPE, 25mmx90mm

広告パネル用 Panel Hardware	
Qty.2	SCREW, M6X14, PAN-HEAD, CROSS-RECESS( (+)なべねじ,M6 )
Qty.2	BACKER BOARD SPACER(金属スペーサー)
Qty.2	THUMB SCREW(つまみねじ)

備考)他モデル用の余分なネジやケーブルタイが同梱されている場合があります。



Floor Base  
Qty. 1

## はじめに

Floorスタンドは ELO-STAND-SELF-SERVICE-15-22-FLOOR-TOP4(E421325)と ELO-STAND-SELF-SERVICE-15-22-FLOOR-BASE(E797162)を組み合わせて使用するものです。

**警告)転倒防止の対策は必ず行って下さい。  
本ガイド20ページの43項にある穴を使って転倒防止することを推奨します。**

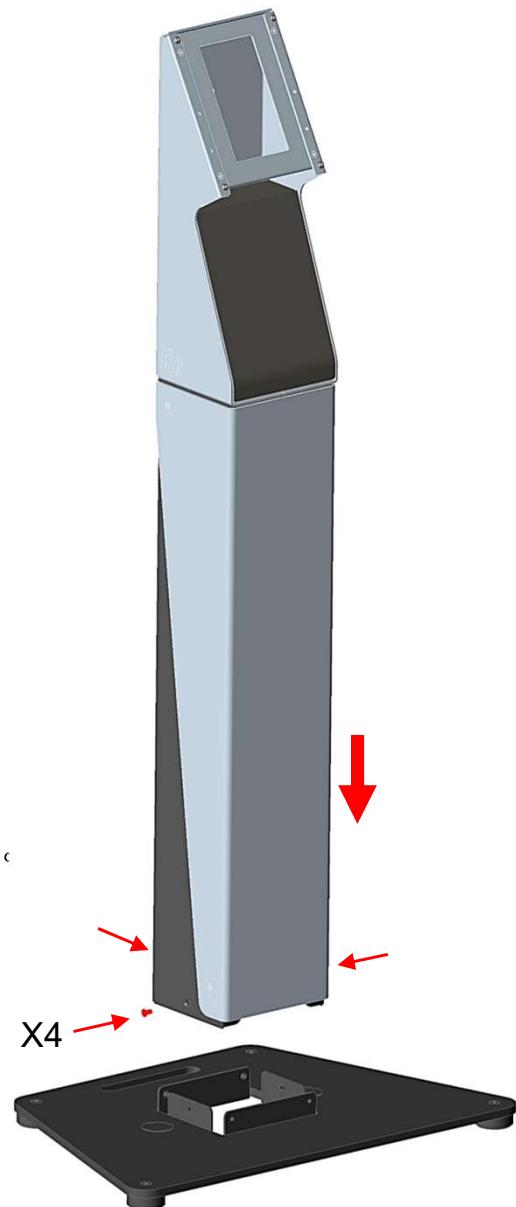
**注意)M3のネジ締めトルクは0.5Nm以下で行って下さい。**

# スタンド組み立て手順

elo

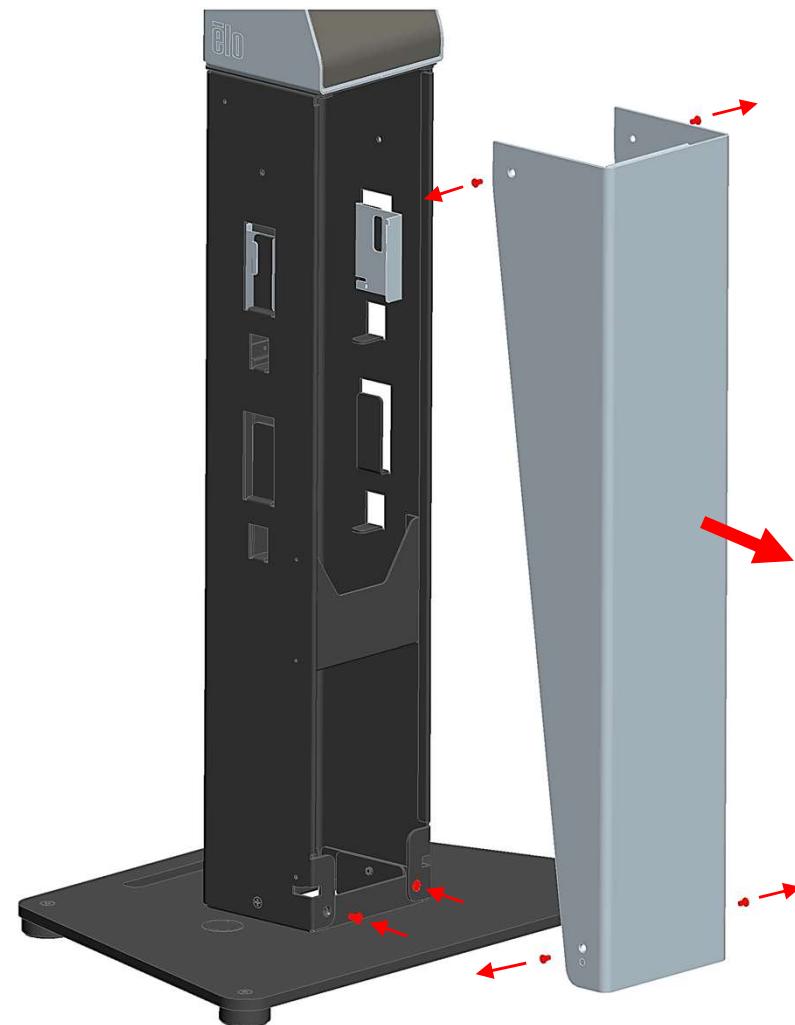
1

タワー部をbag "K"の  
ネジ4本(赤表示)  
ベースプレートに固定する。



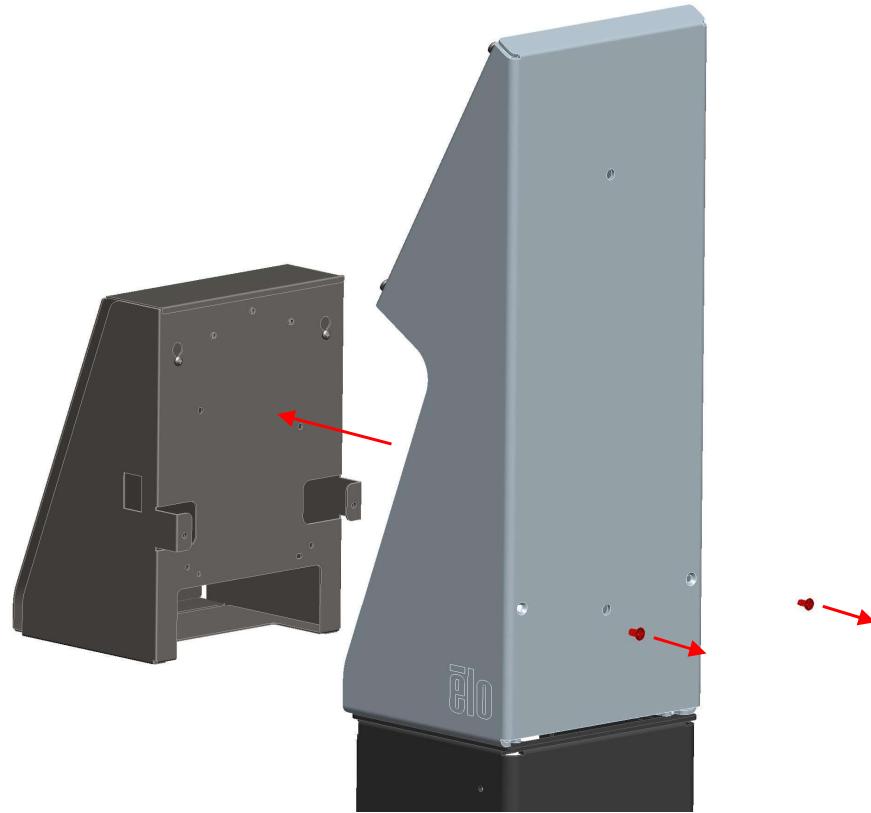
UM600679 rev.E2

2



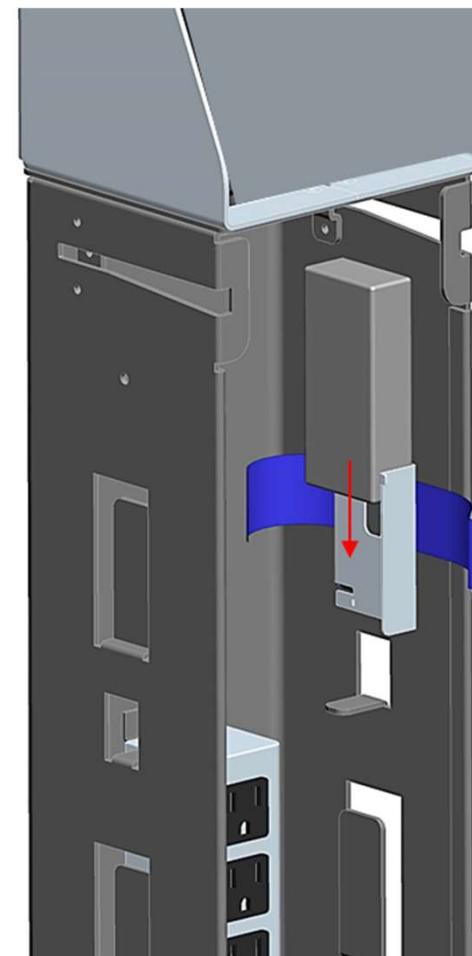
フロントカバーのネジ4本(赤表示)を外して、フロントカバーを取り外す。  
(ネジは再度利用)  
bag "K"の残りの2本の皿ネジ(赤表示)でフロント側も固定する。

3

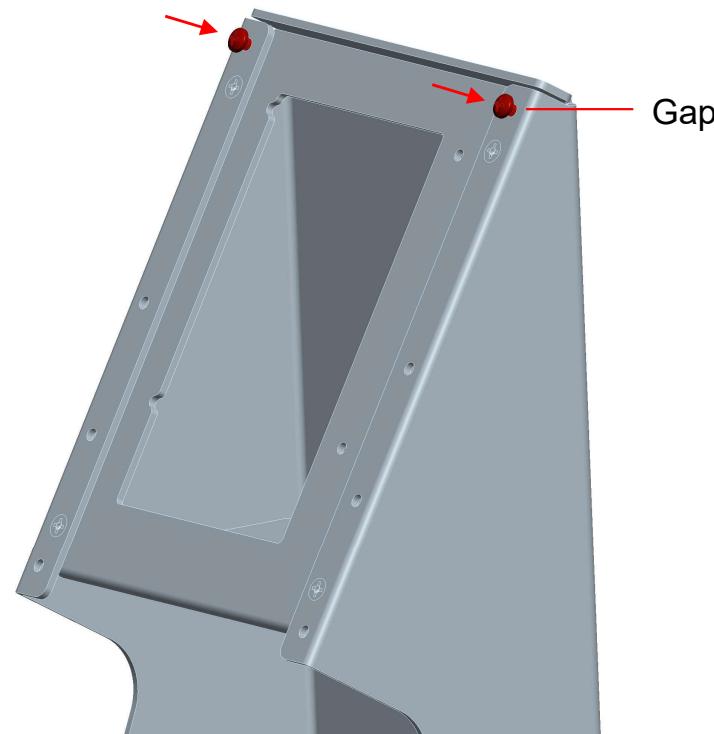


背面のネジ2本(赤表示)を取り外して、プリンタートレイを外す。  
(ネジは再度利用)

4



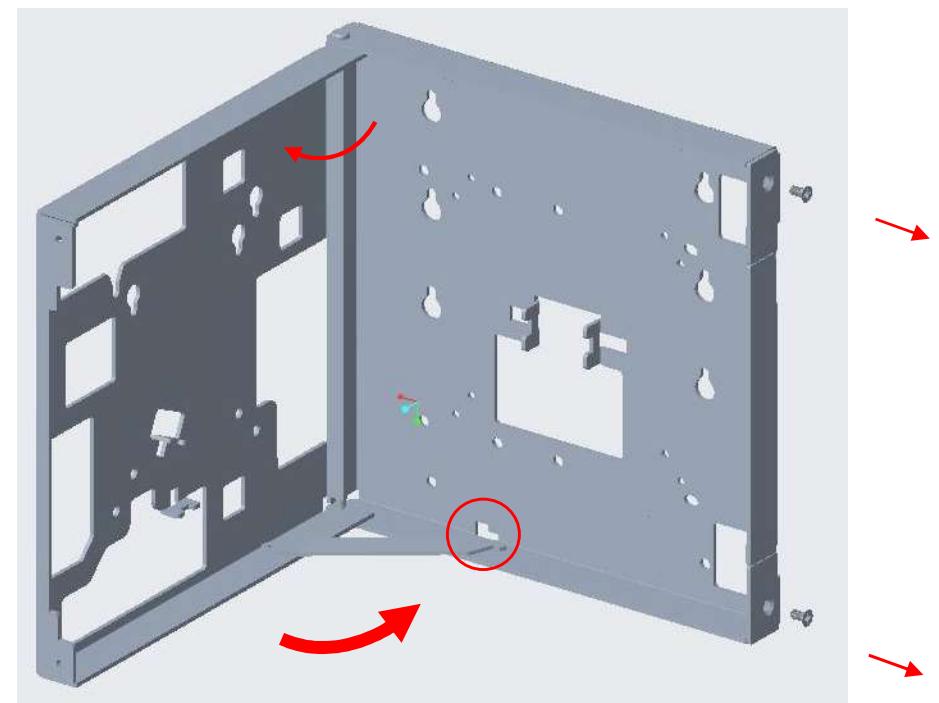
同梱のストラップを利用して、ACアダプタなどを取り付ける。  
電源タップもこの空間に配置頂きますと、外部へ引き回す  
電源線が1本にできるため配線がすっきりします。

**5**

bag "A"からネジ2本(赤表示)を取り出し、  
約3mm浮いた状態になるようにネジを取り付ける。

**6**

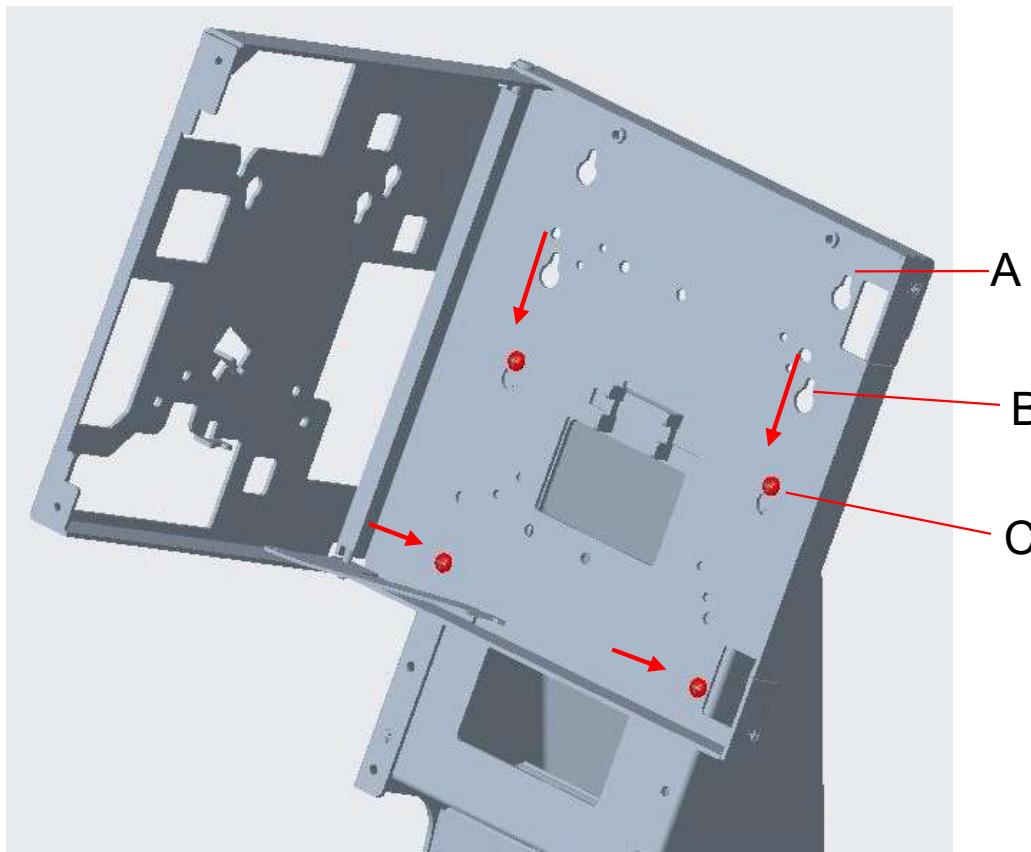
Android PC用/タッチモニター用  
あるいは Windows PC用の  
ディスプレイブラケットを選択



皿ネジ2本(赤矢印)を取り外し、  
ディスプレイブラケットをオープンする。(ネジは再度利用)

備考)開いたままを作業できるようにフックを引っかけるこ  
とができます。

7



ディスプレイブラケットを取り付ける。

取り付けるヘッドサイズと向きは以下になります。

位置“A”：15“, 22” 横長表示用

位置“B”：15“ 縦長表示用

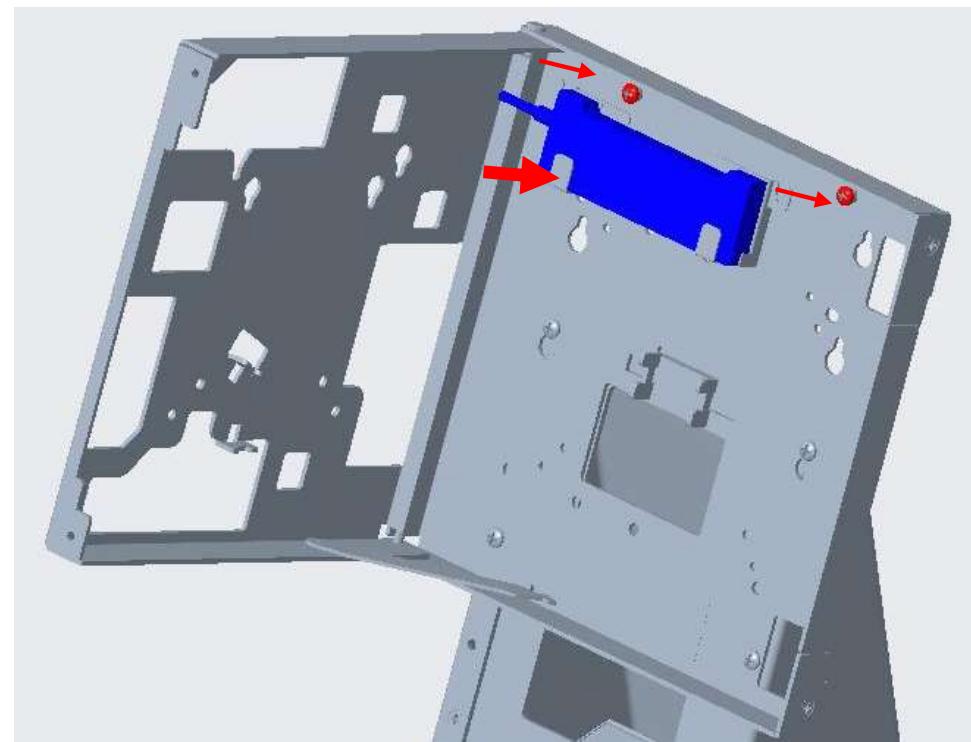
位置“C”：22” 縦長表示用

まず、bag “A”的ネジ2本(赤表示)をサイズに合わせた位置に3mm程度浮かせて取り付け、ディスプレイブラケットを引っ掛けます。

次に、bag “A”的ネジ2本(赤表示)で下の穴に固定し、最後に上のネジ2本を締め固定する。

UM600679 rev.E2

8

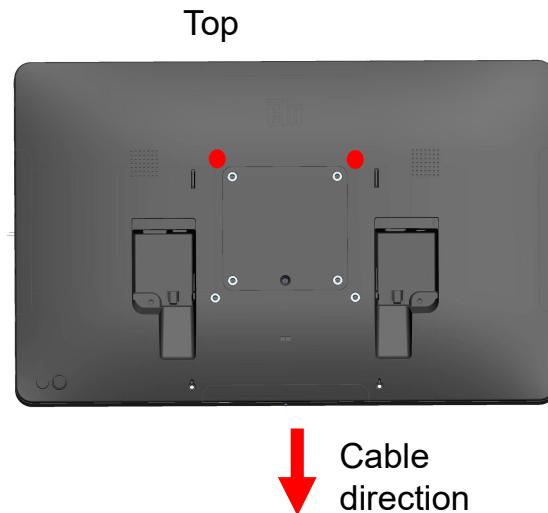


bag “S”的ネジ2本(赤表示)を用いてUSB Hubを取り付ける。

Android PC/タッチモニターの場合step 10に進む

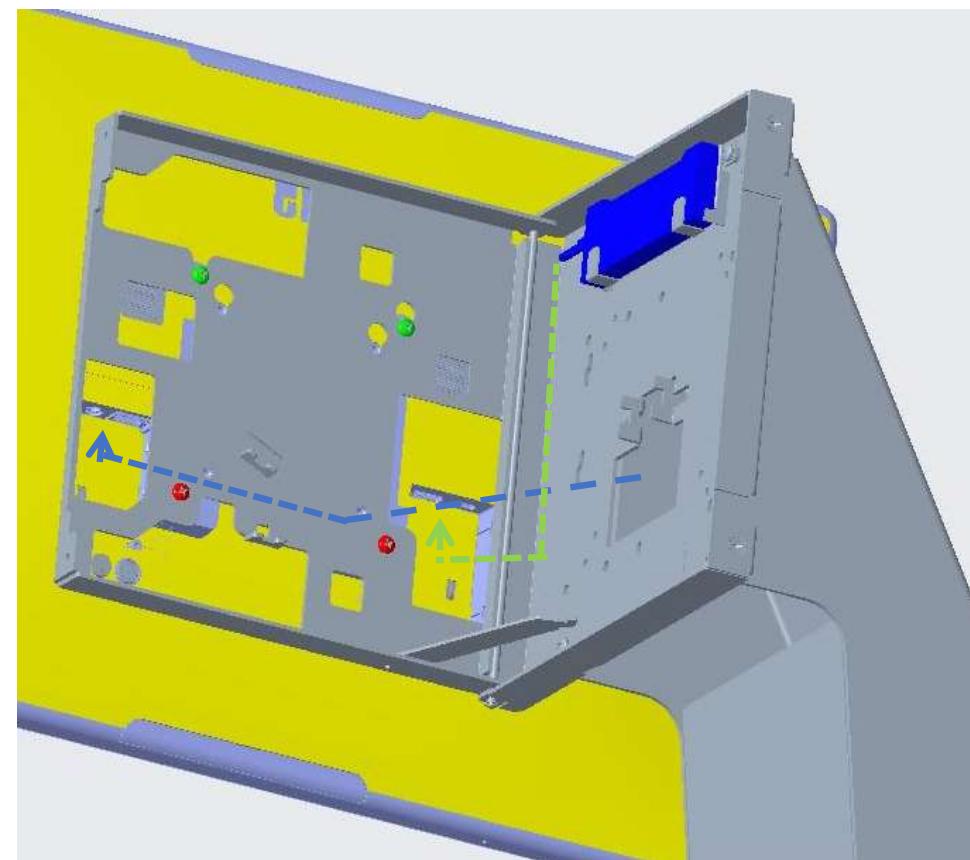
Windows PC場合 step 20に進む

**10** Android PC i1シリーズ /Windows PC  
i5 rev.D/タッチモニター  
横長表示(Landscape)  
(縦長表示の場合step 12に進む)



bag "L" のネジ2本(赤表示)を用いてVESAマウントの2か所に3mm程度浮かせて取り付ける。

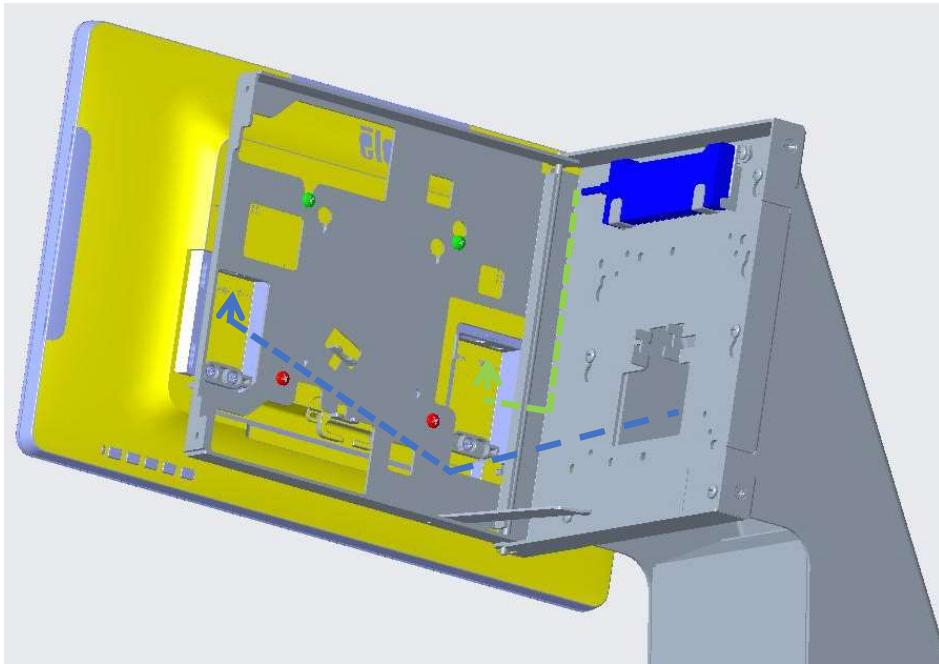
**11-1** Android PCの場合



i1シリーズのIO部のカバーを外し  
シリーズ2か所のネジ(緑表示)をブラケットの上の穴に引っ掛け、bag "L" のネジ2本(赤表示)を用いて、VESAマウント部に固定する。  
電源ケーブル、LAN ケーブル、USBケーブルを引き回し、最後に、上側2本のネジを締める。

備考)必要に応じてケーブルタイで縛って下さい。

## 11-2 タッチモニター1502Lの場合

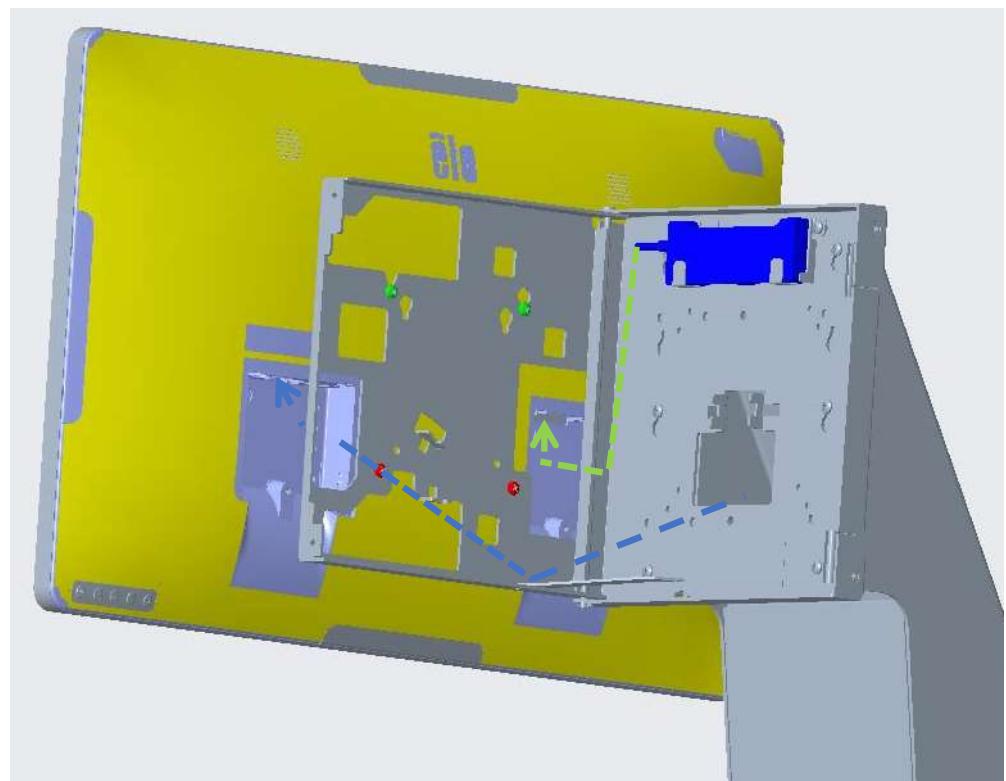


1502LのIO部のカバーを外し

1502Lの2か所のネジ(緑表示)をブラケットの上の穴に引っ掛け、bag “L” のネジ2本(赤表示)を用いて、VESAマウント部に固定する。

電源ケーブル、映像信号ケーブル、USBケーブルなどを引き回し、最後に、上側2本のネジを締める。

## 11-3 タッチモニター2202Lの場合



2202LのIO部のカバーを外し

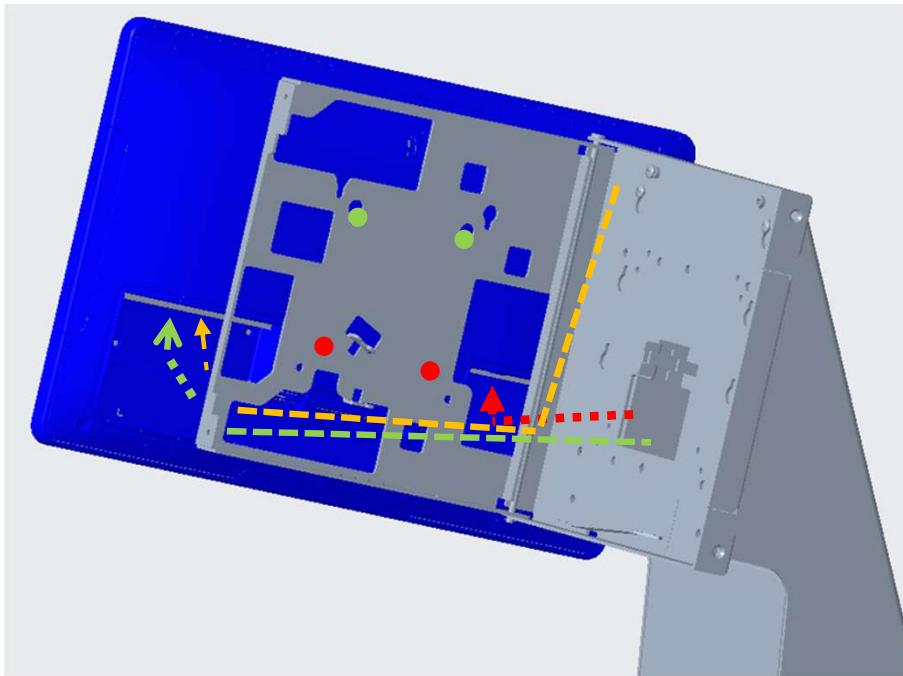
2202Lの2か所のネジ(緑表示)をブラケットの上の穴に引っ掛け、bag “L” のネジ2本(赤表示)を用いて、VESAマウント部に固定する。

電源ケーブル、映像信号ケーブル、USBケーブルなどを引き回し、最後に、上側2本のネジを締める。

step 30に進む

11-4

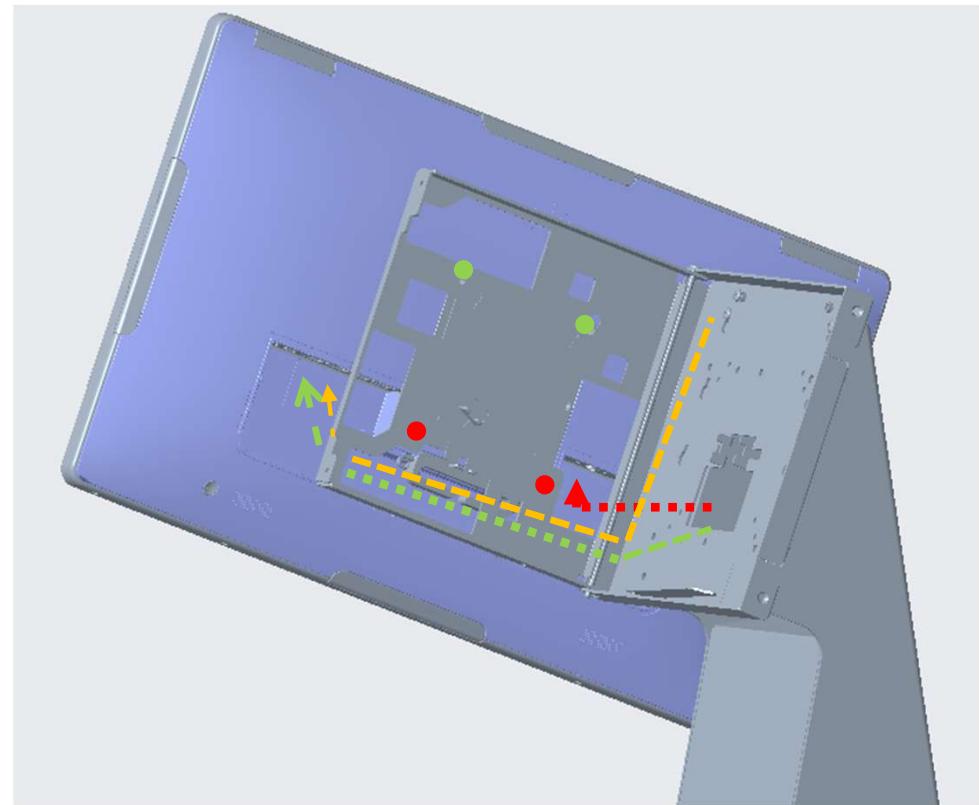
ESY15i5 rev.Dの場合



ESY15i5 左右のIO部のカバーを外し  
ESY15i5の2か所のネジ(緑表示)をブラケットの上の穴に引っ掛け、  
bag "L" のネジ2本(赤表示)を用いて、VESAマウント部に固定する。  
LAN ケーブル、USBケーブル及び電源ケーブルなどを引き回し、最後  
に、上側2本のネジを締める。

11-5

ESY22i5 rev.Dの場合



ESY22i5 左右のIO部のカバーを外し  
ESY22i5の2か所のネジ(緑表示)をブラケットの上の穴に引っ掛け、  
bag "L" のネジ2本(赤表示)を用いて、VESAマウント部に固定する。  
LAN ケーブル、USBケーブル及び電源ケーブルなどを引き回し、最後  
に、上側2本のネジを締める。

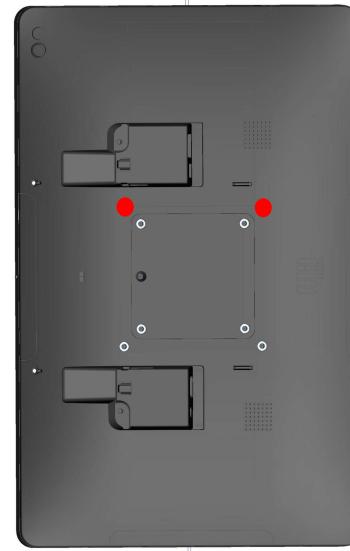
step 30に進む

12

## Android PC i1シリーズ/タッチモニター 縦長表示(Portrait)

Top

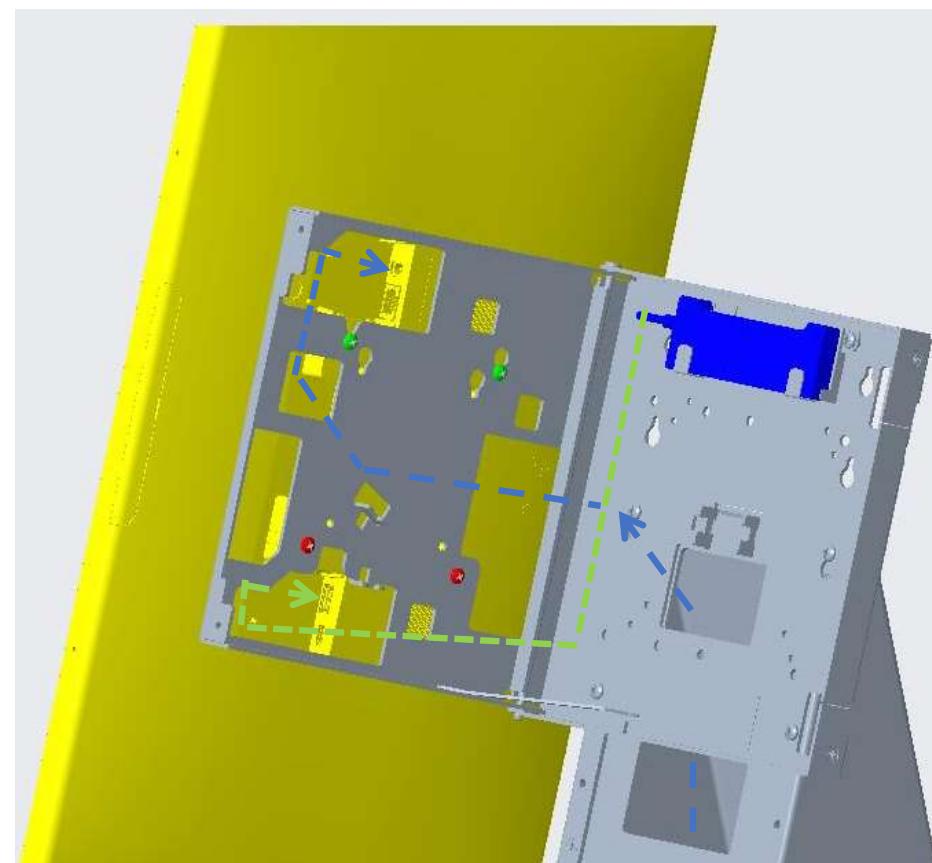
Cable direction



bag "L" のネジ2本(赤表示)を用いてVESAマウントの2か所に3mm程度浮かせてネジを取り付ける。

13-1

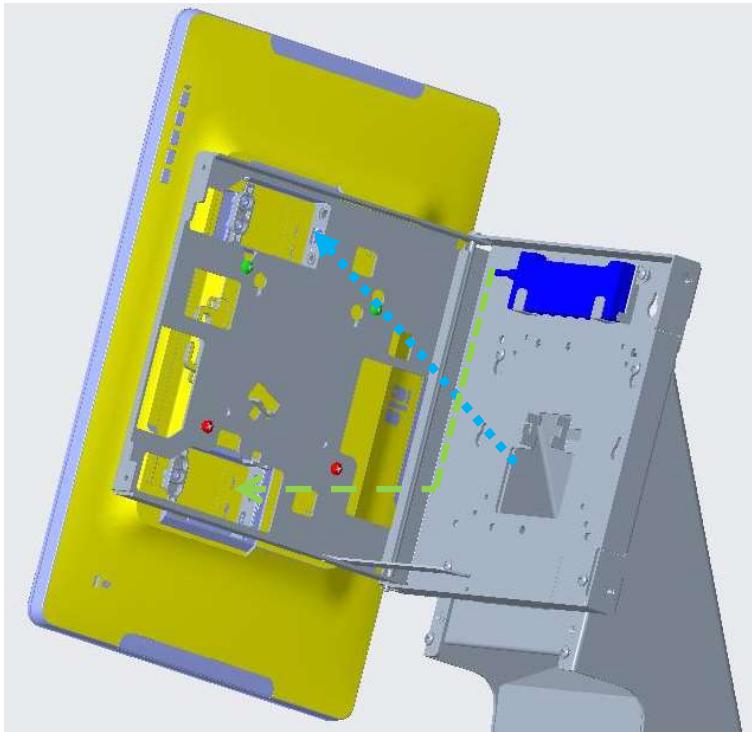
## Android PCの場合



iシリーズのIO部のカバーを外し、のVESAマウント部2か所にbag "L"ネジ(緑表示)を2mm程度の浮かせて取り付けた後、ブラケットの上の穴に引っ掛け、次に、bag "L" のネジ2本(赤表示)を用いて、残りの2か所のVESAマウント部に固定する。  
電源ケーブル、LAN ケーブル、USBケーブルを引き回し、最後に、上側2本のネジを締める。

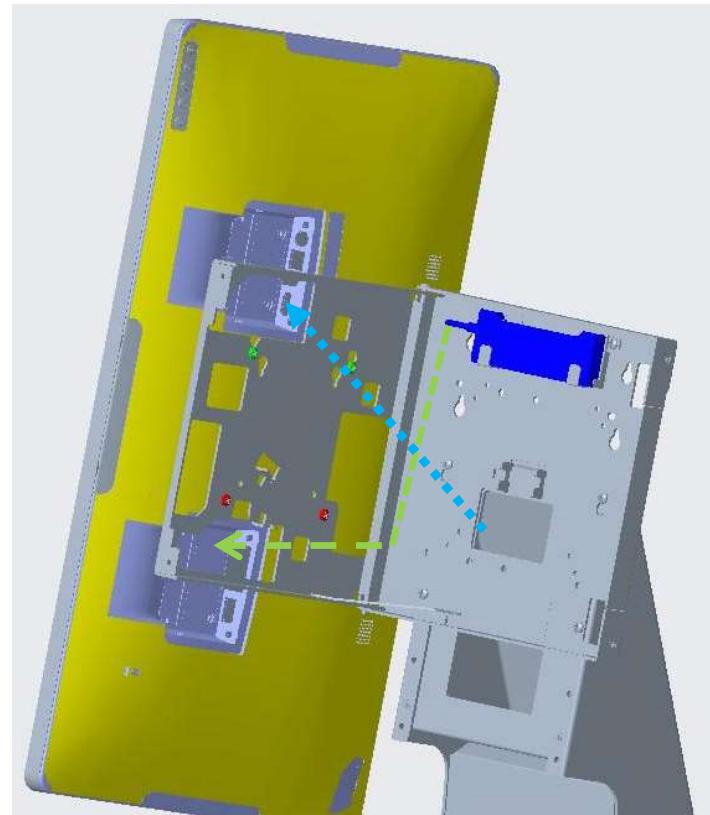
備考)必要に応じてケーブルタイで縛って下さい。

## 13-2 タッチモニター1502Lの場合



ET1502の左右のIO部のカバーを外し、ET1502LのVESAマウント部2か所にbag "L"ネジ(緑表示)を2mm程度の浮かせて取り付けた後、ブラケットの上の穴に引っ掛け、次に、bag "L" のネジ2本(赤表示)を用いて、残りの2か所のVESAマウント部に固定する。  
電源ケーブル、映像信号ケーブル、USBケーブルなどを引き回し、最後に、上側2本のネジを締める。

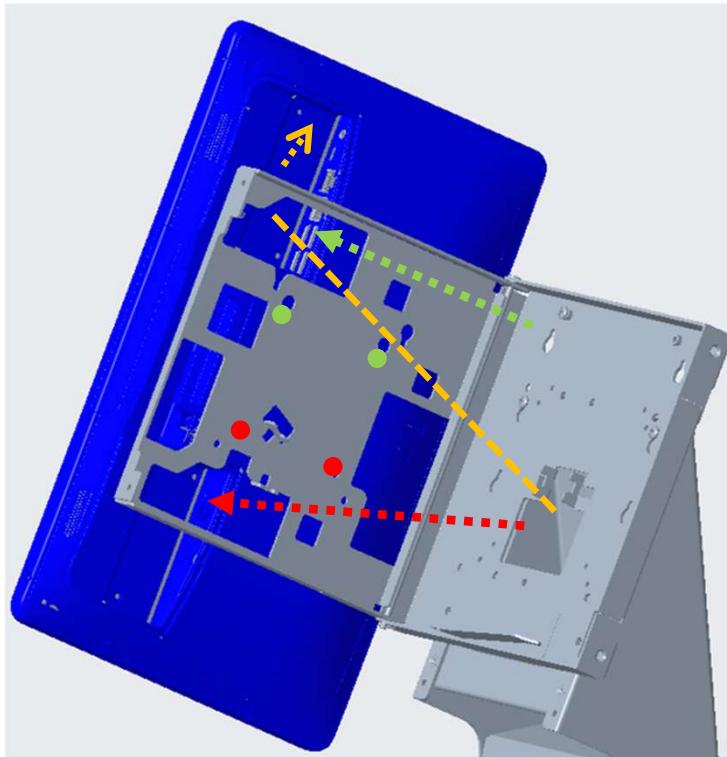
## 13-3 タッチモニター2202Lの場合



ET2202の左右のIO部のカバーを外し、ET2202LのVESAマウント部2か所にbag "L"ネジ(緑表示)を2mm程度の浮かせて取り付けた後、ブラケットの上の穴に引っ掛け、次に、bag "L" のネジ2本(赤表示)を用いて、残りの2か所のVESAマウント部に固定する。  
電源ケーブル、映像信号ケーブル、USBケーブルなどを引き回し、最後に、上側2本のネジを締める。

13-4

ESY15i5 rev.Dの場合

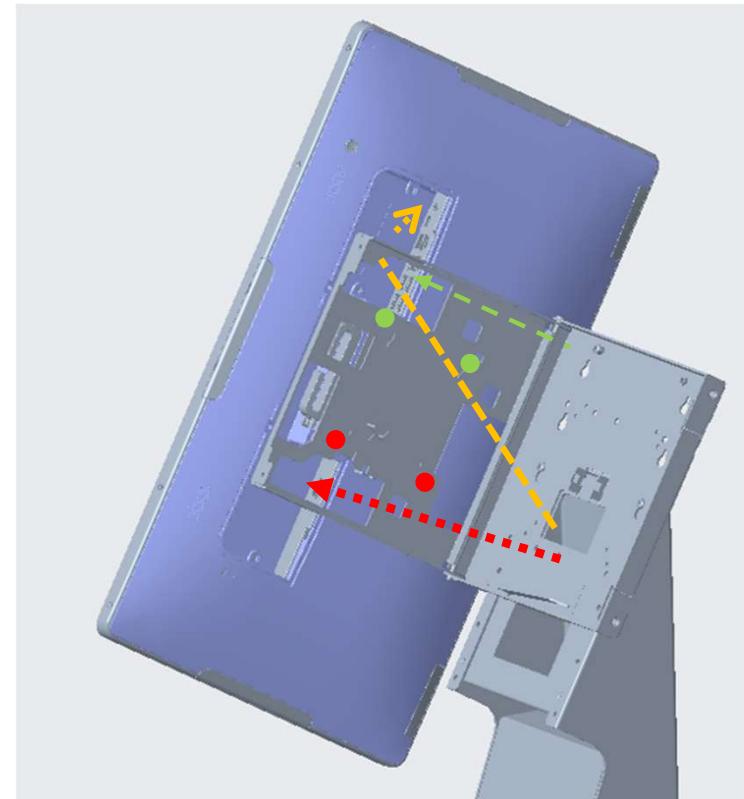


ESY15i5 左右のIO部のカバーを外し、ESY15i5のVESAマウント部2か所にbag "N"ネジ(緑表示)を2mm程度の浮かせて取り付けた後、ブラケットの上の穴に引っ掛け、次に、bag "N" のネジ2本(赤表示)を用いて、残りの2か所のVESAマウント部に固定する。

**LANケーブル**、**USBケーブル**及び**電源ケーブル**などを引き回し、最後に、上側2本のネジを締める。

13-5

ESY22i5 rev.Dの場合



ESY22i5 左右のIO部のカバーを外し、ESY22i5のVESAマウント部2か所にbag "N"ネジ(緑表示)を2mm程度の浮かせて取り付けた後、ブラケットの上の穴に引っ掛け、次に、bag "N" のネジ2本(赤表示)を用いて、残りの2か所のVESAマウント部に固定する。

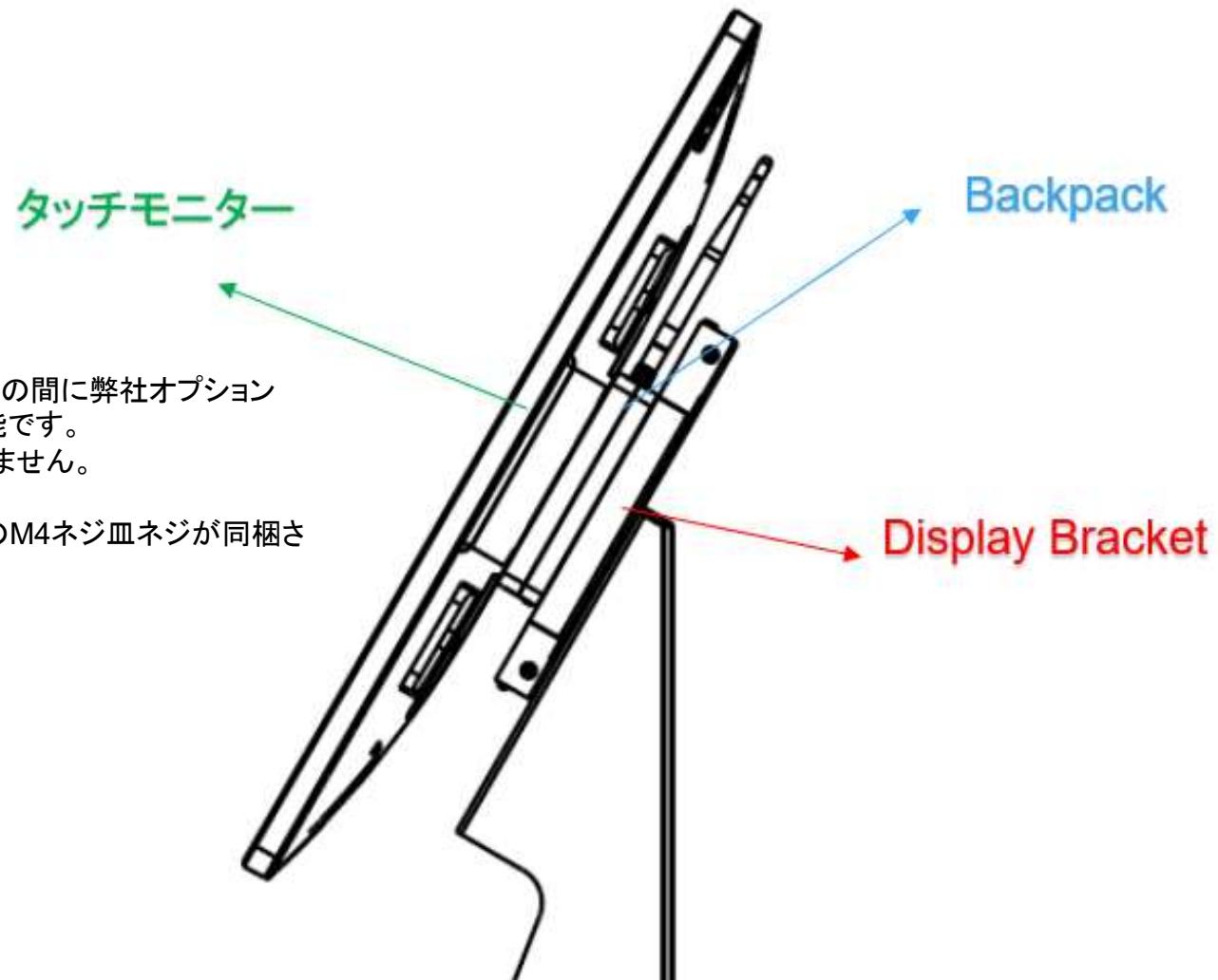
**LANケーブル**、**USBケーブル**及び**電源ケーブル**などを引き回し、最後に、上側2本のネジを締める。

step 30に進む

## 13-4 タッチモニターとスタンドの間に、Android box PCを取り付ける場合

タッチモニターの場合、モニターとディスプレイブラケットの間に弊社オプション  
Android Box PC(PN:E393359)を取り付けることも可能です。  
但し、そのための長さ30mmのM4ネジは同梱されていません。

備考)Android Box PC(PN:E393359)には長さ30mmのM4ネジ皿ネジが同梱さ  
れています。



20

Windows版iシリーズ rev.B/rev.C

Portrait(縦長表示)

( Landscape(横長表示)時はstep 24に進む)

15" Portrait



22" Portrait

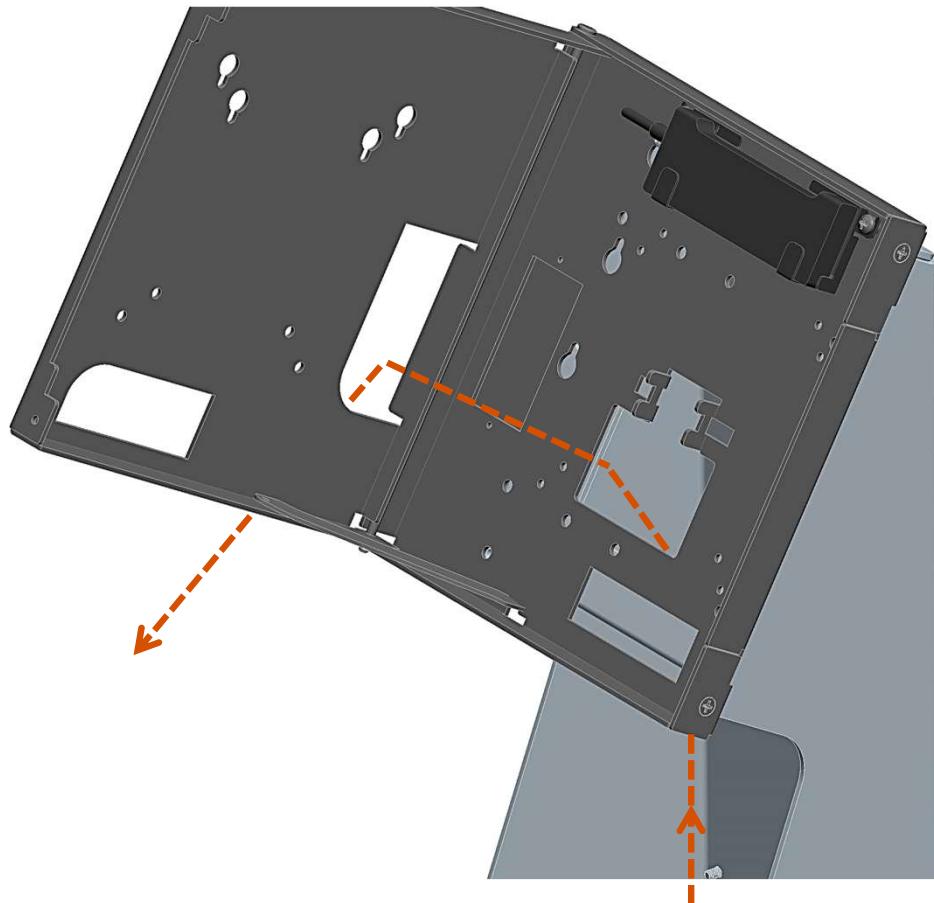


15": bag "M"の2つのネジ(赤表示)を VESA75mm穴の2か所に取り付ける。

22": bag "N"の2つのネジ(赤表示)を VESA100mm穴の2か所に取り付ける。

備考) display bracketに取り付けるために、ネジ山が約3mm見える状態にする。

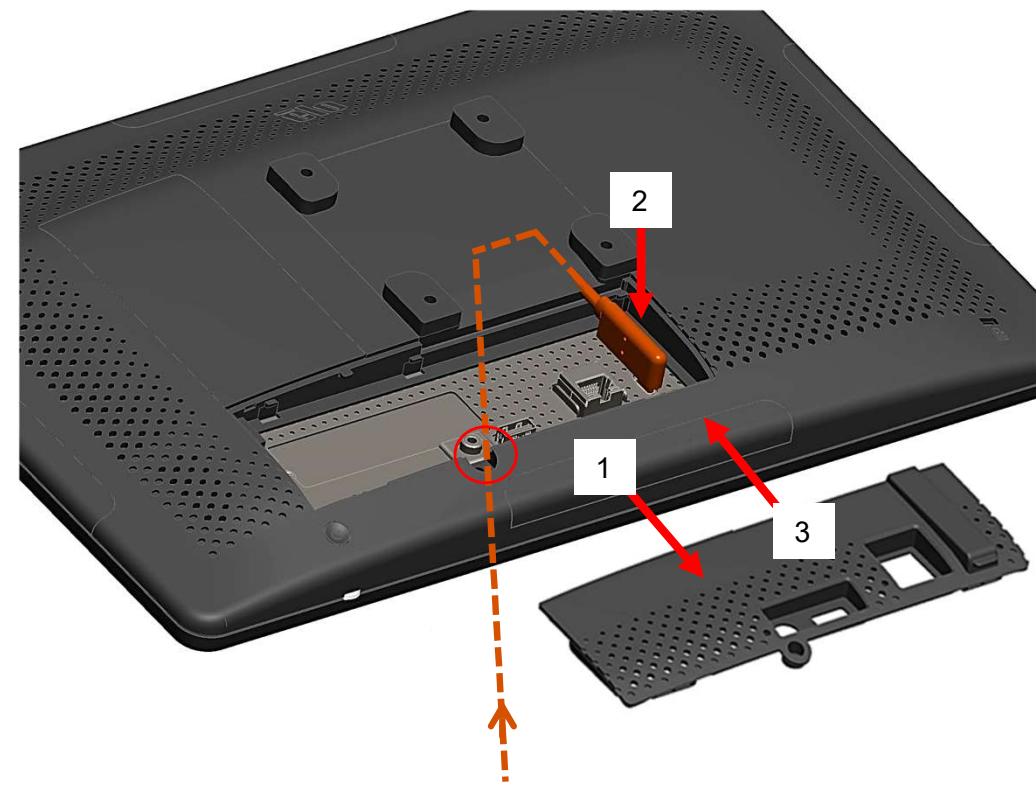
21



iシリーズ用ACアダプタのDC電源ケーブルを図のように引き回す。

UM600679 rev.E2

22



ケーブルカバーを外した状態で、ACアダプタのプラグを差し込み、再度ケーブルカバーを取り付ける。その際、DC電源ケーブルは図の○の位置から引き出す。

23

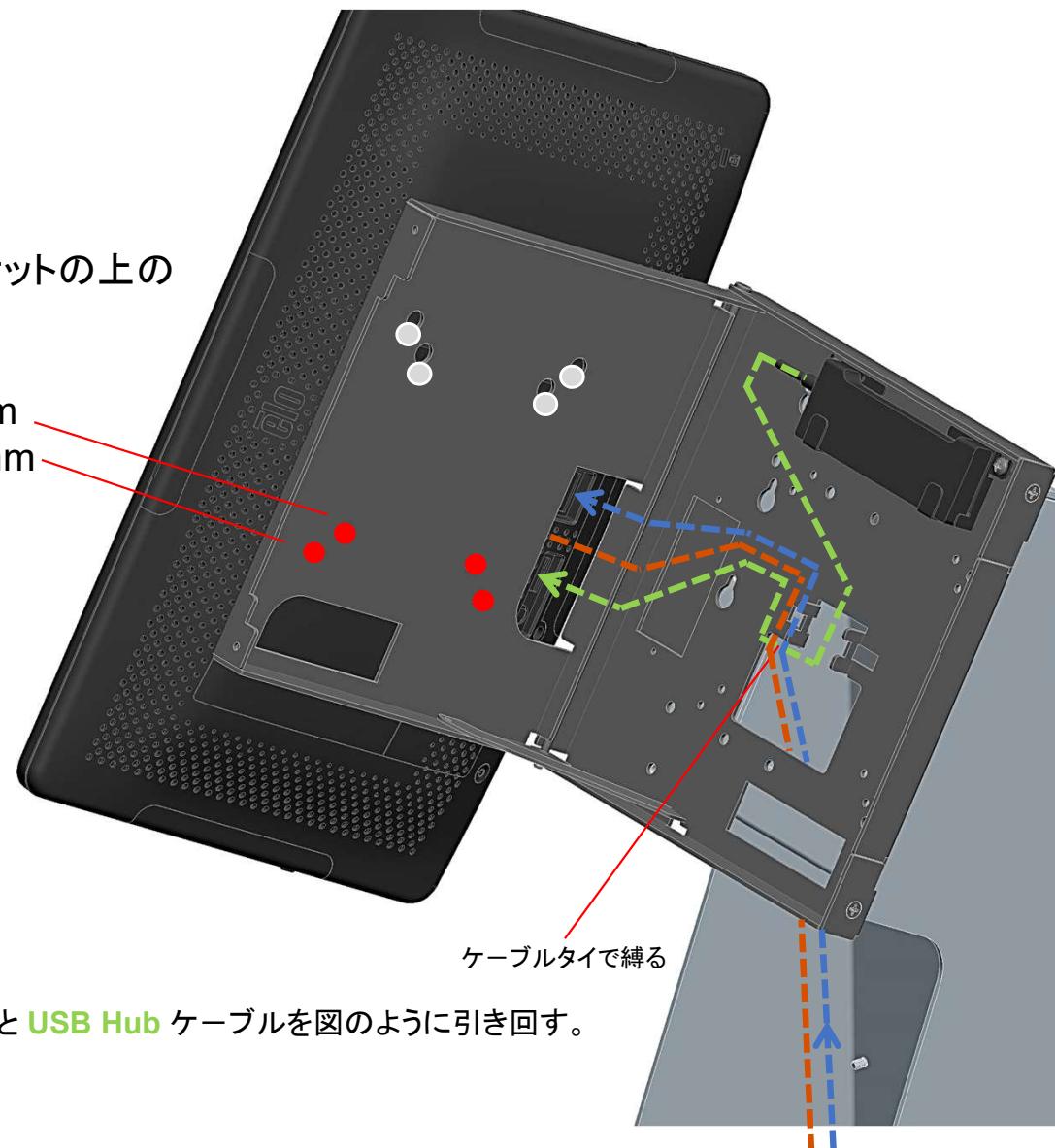
iシリーズ2か所のネジ(グレー表示)をブラケットの上の穴に引っ掛け、

下側の穴2か所を以下のネジで固定する。

15": bag "M" のネジ(赤表示)をVESA75mm

22": bag "N" のネジ(赤表示)をVESA100mm

最後に、上側のネジ2本を締める。



step 30に進む。

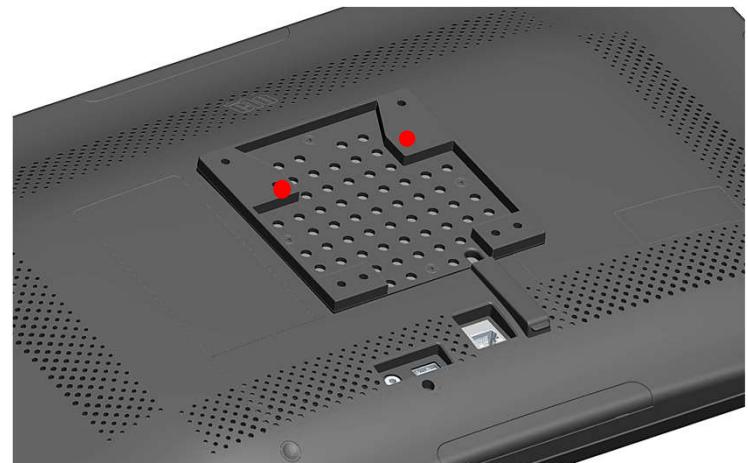
24

Windows版iシリーズ rev.B/rev.C iシリーズ  
Landscape(横長表示)

15" Landscape



22" Landscape



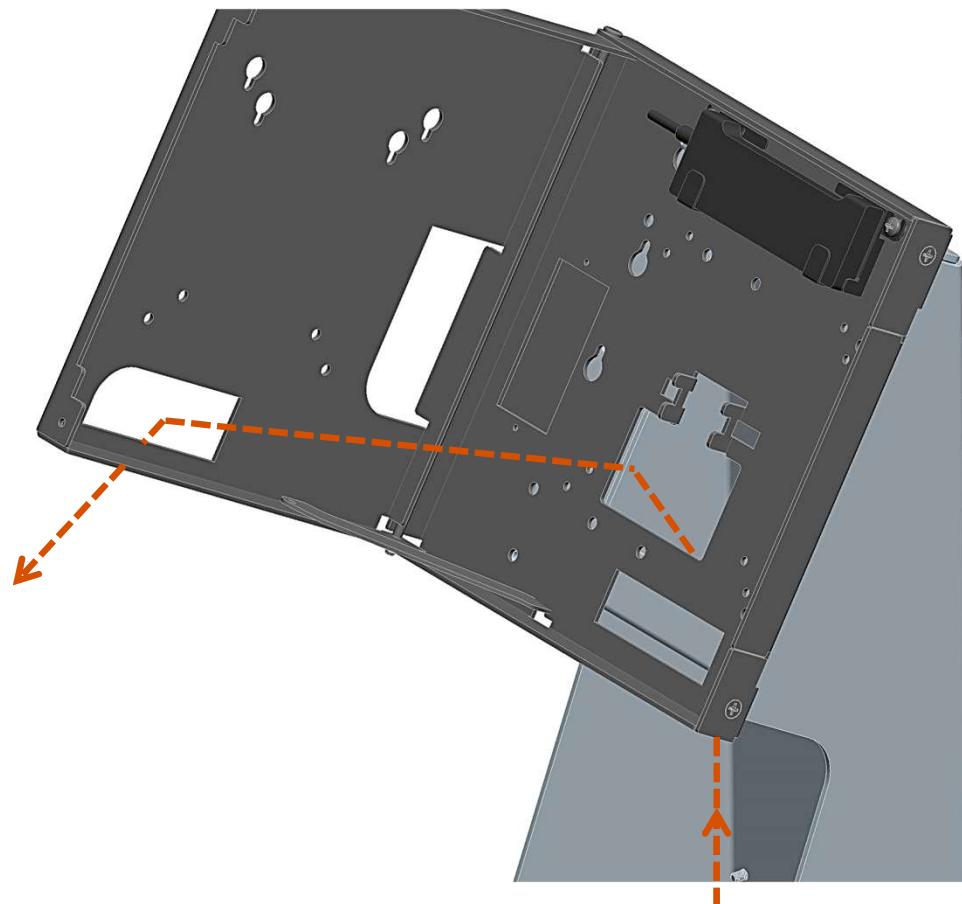
15": bag "M"の2つのネジ(赤表示)をVESA75mm穴の2か所に取り付ける。

22": bag "N"の2つのネジ(赤表示)をVESA75mm穴の2か所に取り付ける。

注意)22"はVESA100mm穴だとコネクタ位置が合いません。

備考) display bracketに取り付けるために、ネジ山が約3mm見える状態にする。

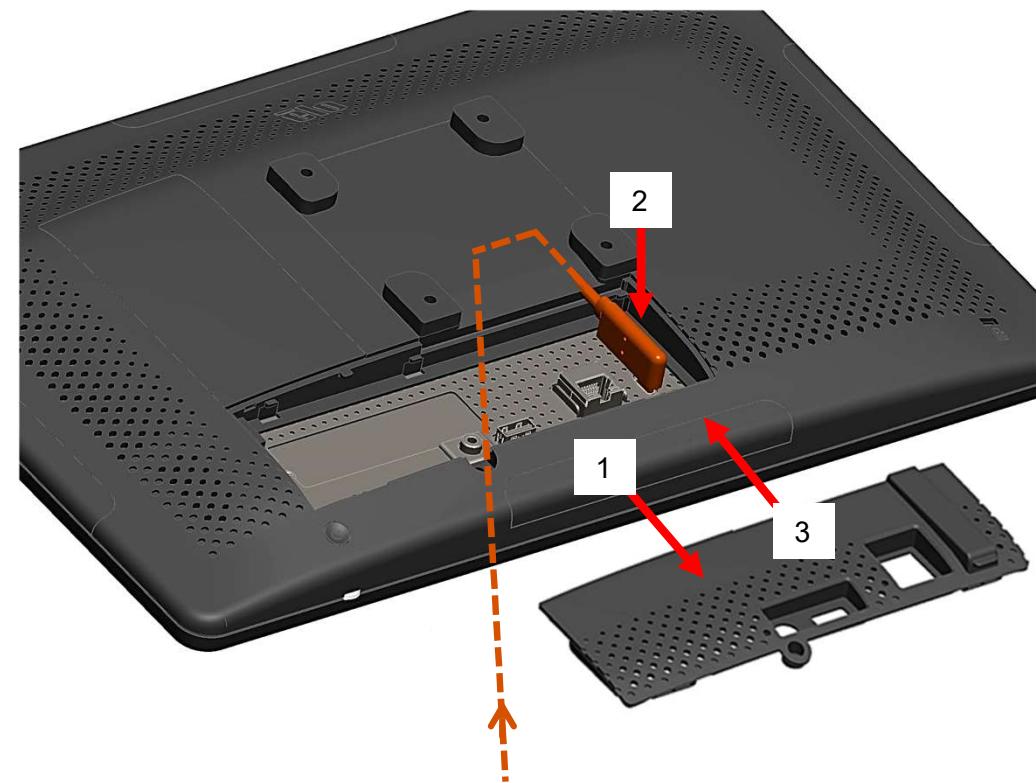
25



iシリーズ用ACアダプタのDC電源ケーブルを図のように引き回す。

UM600679 rev.E2

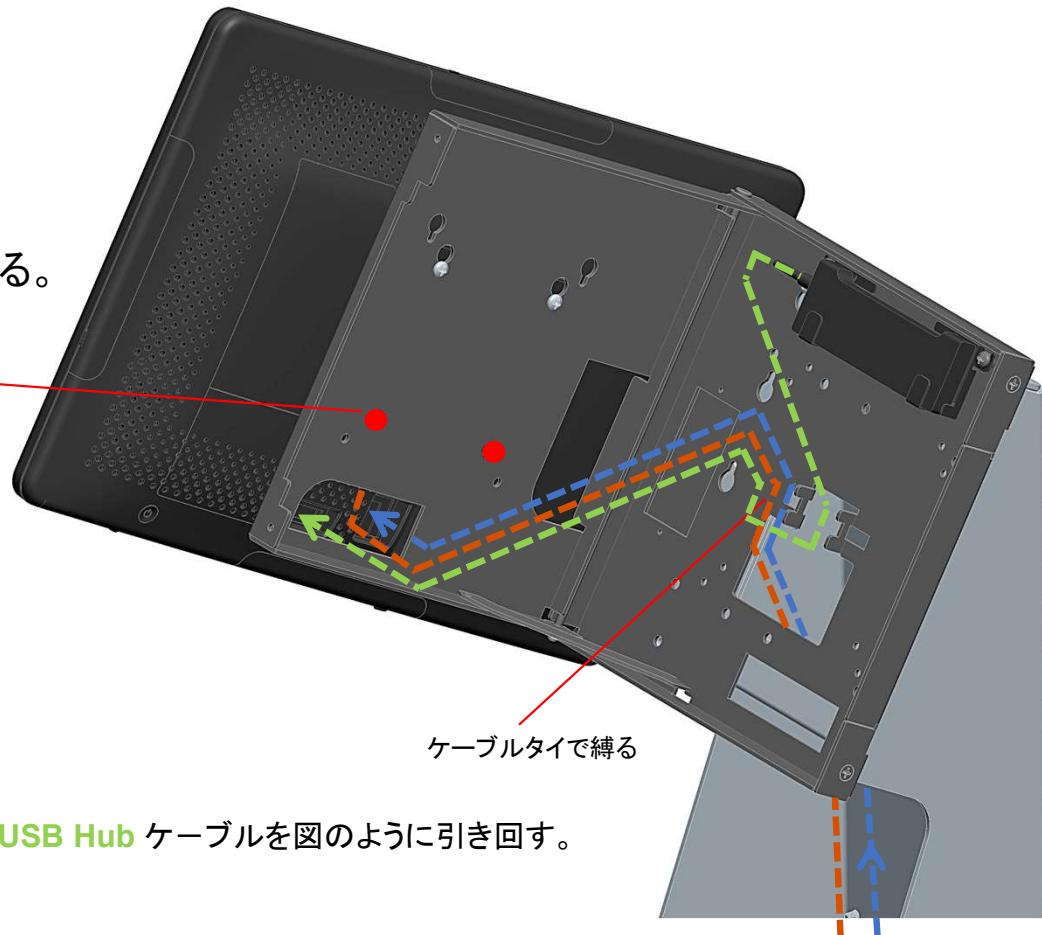
26



ケーブルカバーを外した状態で、ACアダプタのプラグを差し込み、再度ケーブルカバーを取り付ける。その際、DC電源ケーブルは図の○の位置から引き出す。

27

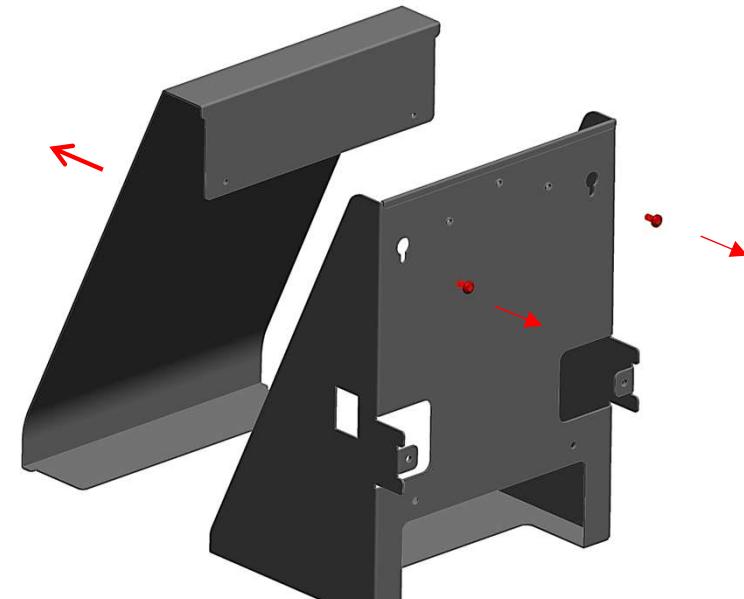
iシリーズ2か所のネジ(グレー表示)をブラケットに  
引っ掛け、  
下側のVESA75mm穴2か所を以下のネジで固定する。  
15": bag "M" のネジ(赤表示)  
22": bag "N" のネジ(赤表示)  
最後に、上側2本のネジを締める。



step 30に進む。

**30**

プリンターを使用しない場合は  
step 50に進む



プリンターを使用する場合は、2本のネジ(赤表示)を外して、カバーを外す。

スター精密製プリンター(TSP100/TSP654等)の場合はstep 31に進む。

Epson TM-T88シリーズの場合はstep 34に進む。

Epson TM-m30/TM-m55の場合は

オプションブラケットPN:E797921を別途準備してstep 35に進む。

スター精密製プリンターmC Print3の場合

オプションブラケット PN:E652348を別途準備してstep 37に進む。

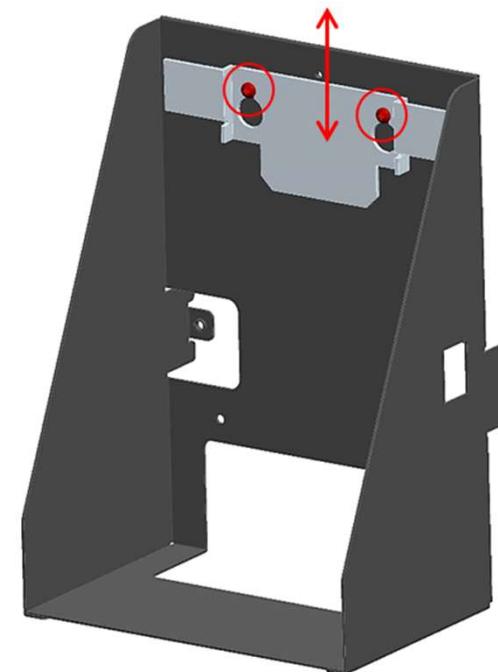
シチズン製プリンターS257の場合

オプションブラケット PN:E296515を別途準備してstep 41に進む

**31**

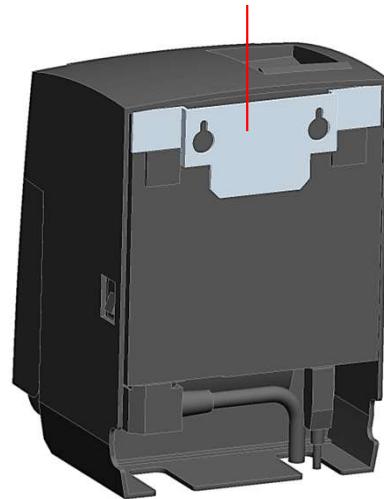
bag "C" の2本のネジ(赤表示)を使用して、  
スター精密製プリンターのブラケットが固定できる  
ように調整する。

備考)適合するプリンターの形状は 24ページを参照下さい。

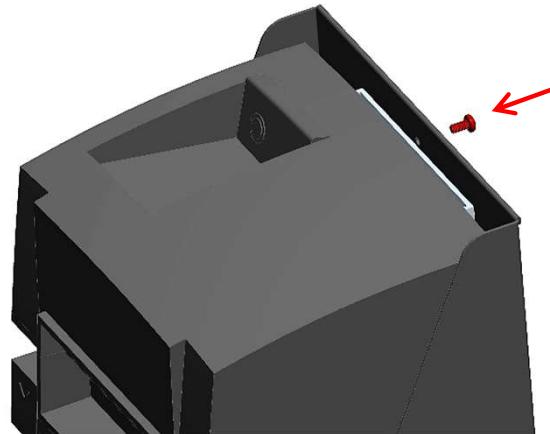


**32**

スター精密製のブラケットをプリンターに取り付ける。  
備考)スター精密の手順参照

**33**

プリンターをトレイに取り付け、bag “C”のネジ1本(赤表示)で固定する。

**step 50に進む**

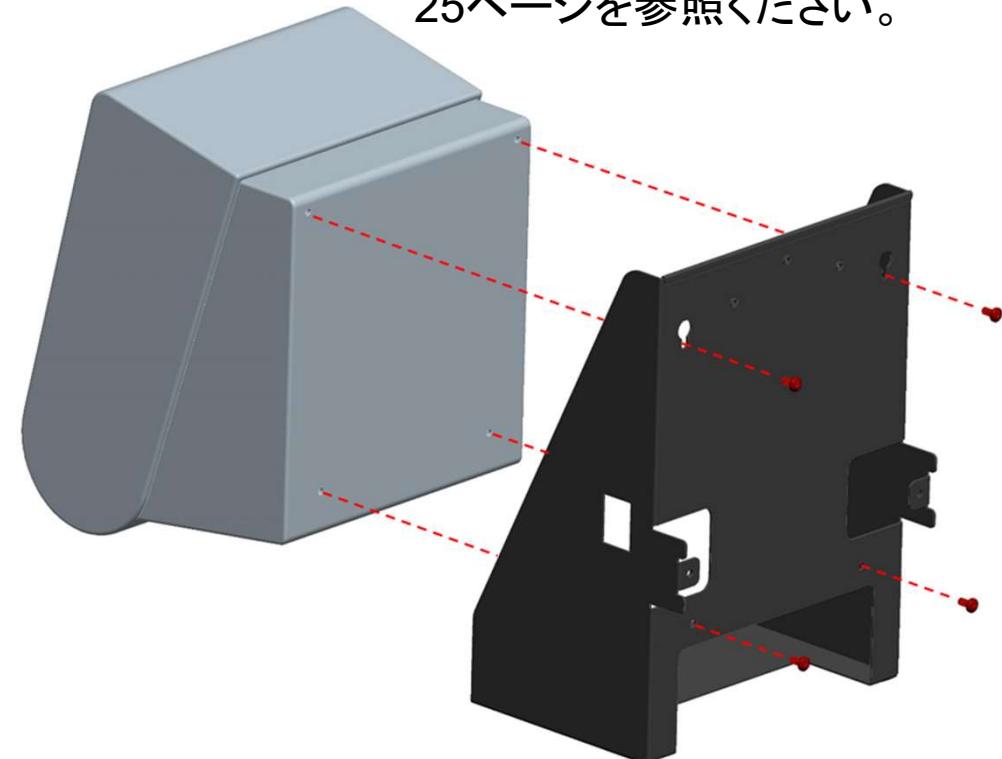
UM600679 rev.E2

**34**

bag “D”的ネジ4本(赤表示)を用いてEPSON製プリンターTM-T88シリーズを固定する。

**Epson TM-T88シリーズ**

適合するプリンターの形状は  
25ページを参照ください。

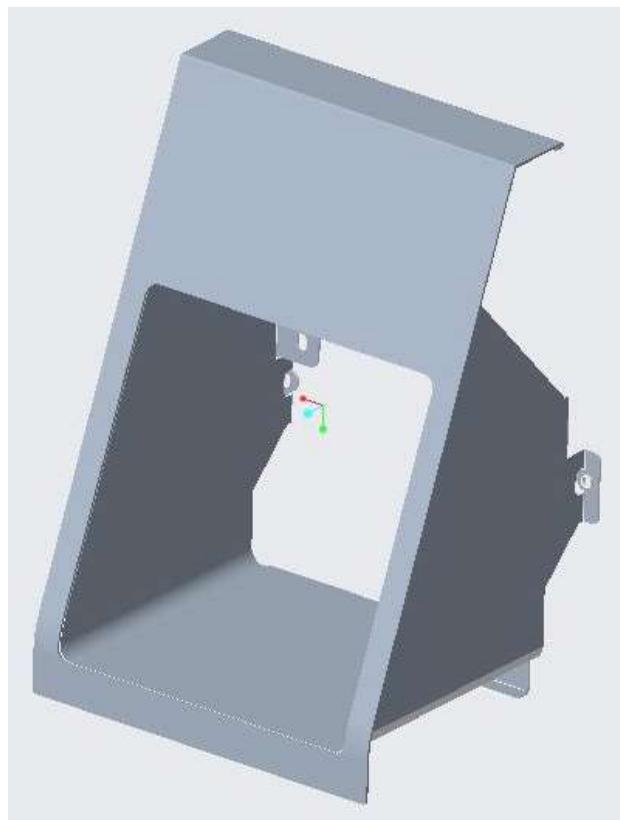


備考)使用するネジはタッピングネジです。

**step 50に進む**

35

EPSON TM-m30/TM-m55用のオプションブラケット  
PN:E797921を準備する。(別売です)



プリンターをブラケットに固定するネジはE797951の箱内に同梱されています。

"C" と "D"あるいは"V"の袋に各2本入っています。

36 で使用するネジはこちらを使用して下さい。

注意)旧仕様の場合、3mmのタッピングネジ"C"のみ同梱されている場合があります。

注意)スタンド本体に同梱の袋と同じ表示になっていますが、間違えないようにしてください。

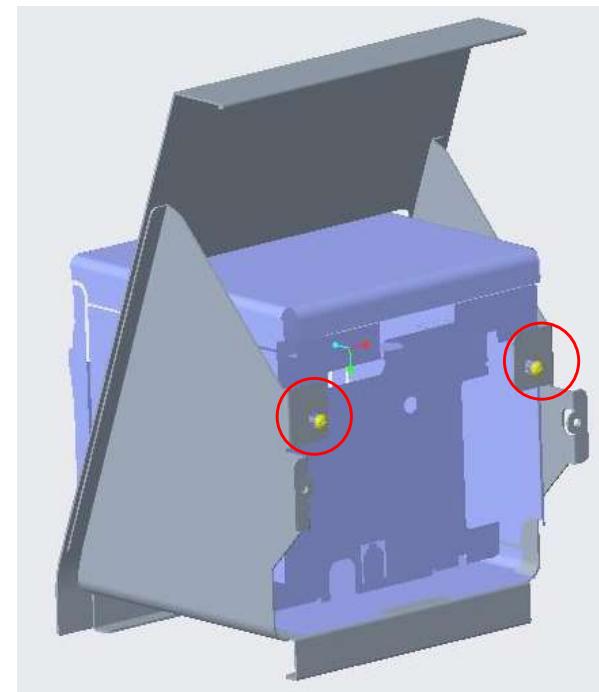
UM600679 rev.E2

36

オプションブラケットにプリンターを前から挿入し、E797921に同梱された取り付けネジ2本(黄表示)で、背面から固定する。

備考) ネジはモデルにより異なります。

TM-m30の場合は"C"の袋の3mmのタッピングねじ(黒)  
TM-m30II/TM-m30II-H、TM-m30III-H、TM-m55の場合  
は"D"あるいは"V"の袋の2.5mmのタッピングネジ



step 50に進む

**37**

Star mC-print3用のオプションブラケット  
PN:E652348を準備する。(別売です。)

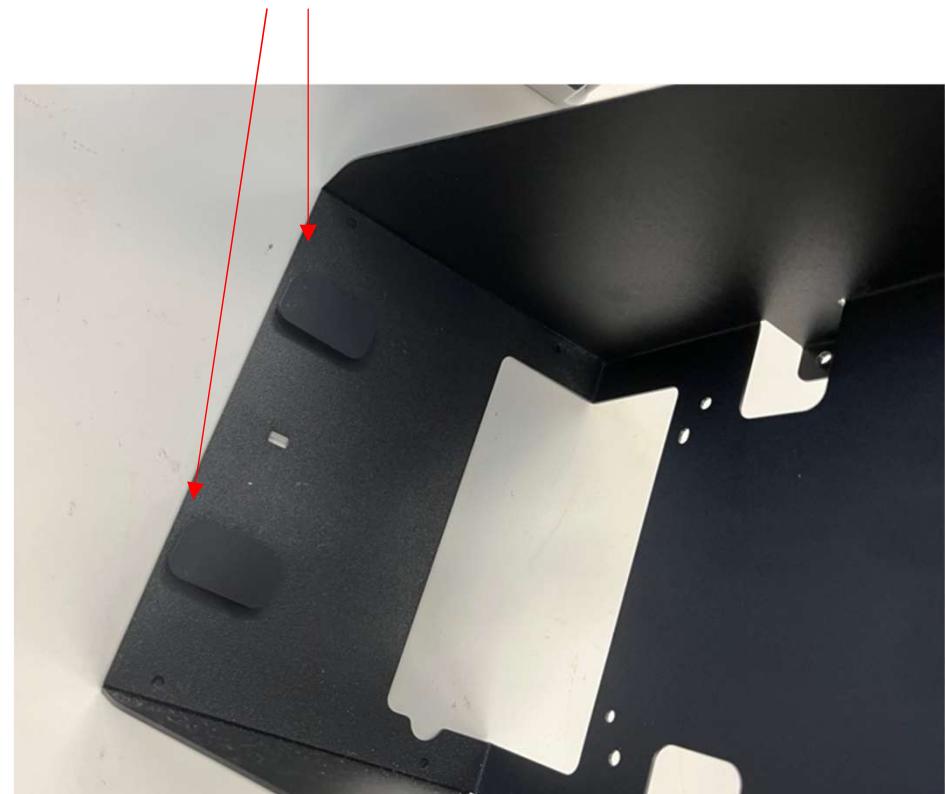


プリンター背面に、取り付けブラケットをネジ止めする。  
(E652348に同梱の3mmのタッピングネジ(BagR)2本を使用)  
※プリンター側にはネジ穴(タップ加工)が施されていないため、ネジを強く押し込みながら回して、しっかりと固定してください。

UM600679 rev.E2

**38**

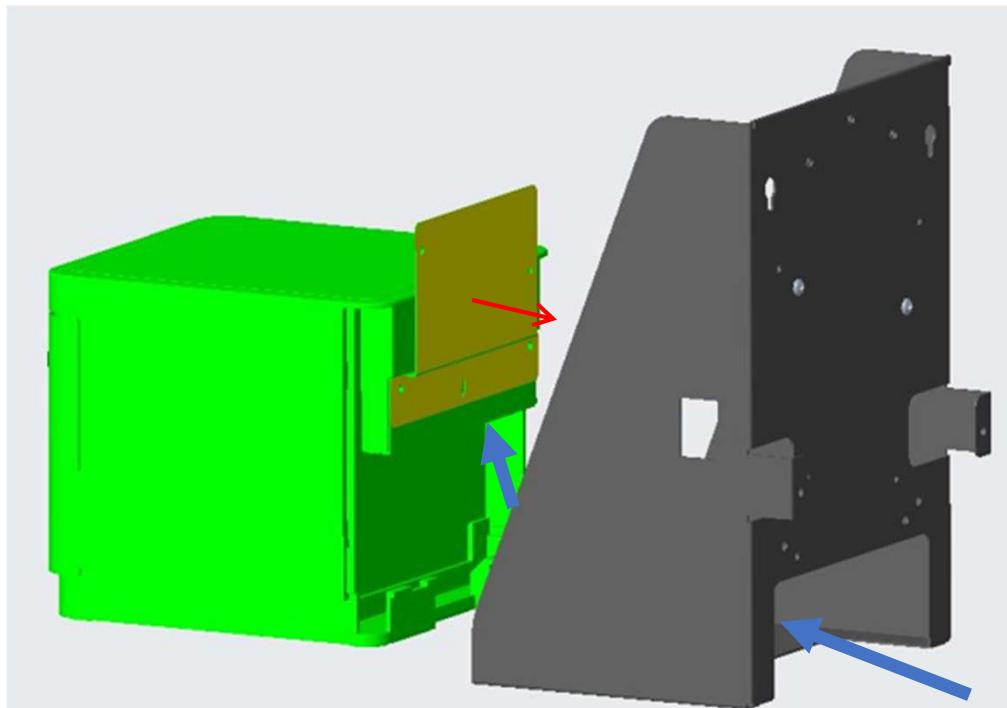
30で取り外した標準のプリンターブラケットにE652348  
に同梱のラバーフット(高さ4mm)を2枚貼る。



**39**

37で組み立てたプリンターを38で貼りつけたラバーフットの上に置き、標準のプリンターブラケットの奥に入れる。

その際、予め青色の矢印に従って、電源ケーブルや通信ケーブルを接続しておきます。

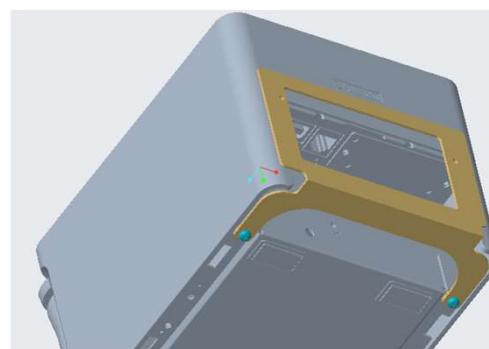
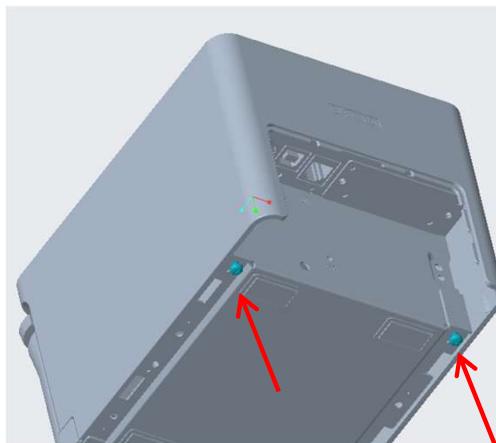
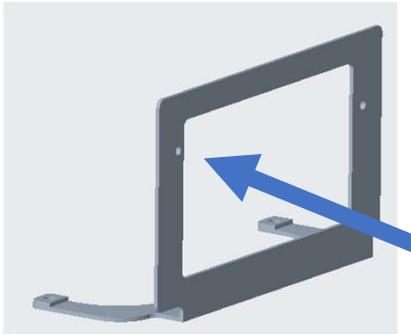
**40**

E652348に同梱のM3ネジ(BagQ)2本で、背面からブラケットに固定する。

**step 50に進む**

**41**

Citizen S257用のオプションブラケット  
PN:E196515を準備する。(別売です。)



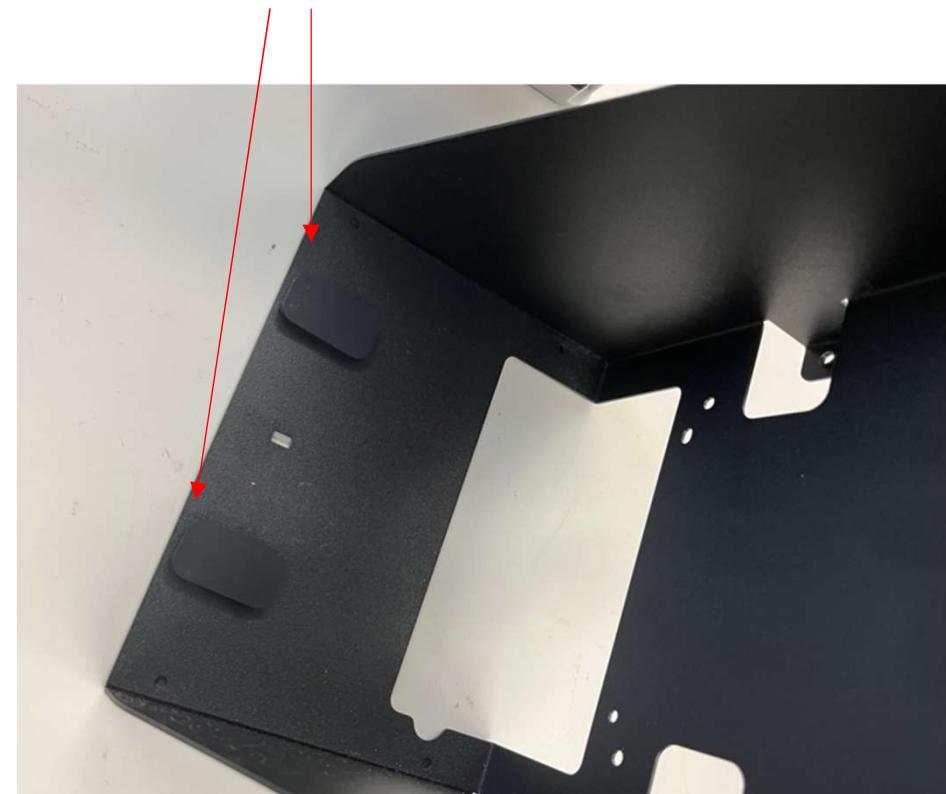
まずは、プリンター背面のケーブルを接続する。そのためには、ブラケットの窓にあらかじめケーブルを通しておく(青線)

次にプリンター底面の2か所のネジを外し、ブラケットを取り付け再度3mmのタッピングネジで固定する。

※外したネジを再利用することも可能ですが、E296515に同梱されている長さ8mmのタッピングネジ(BagR)も利用可能です。(少し長い)

**42**

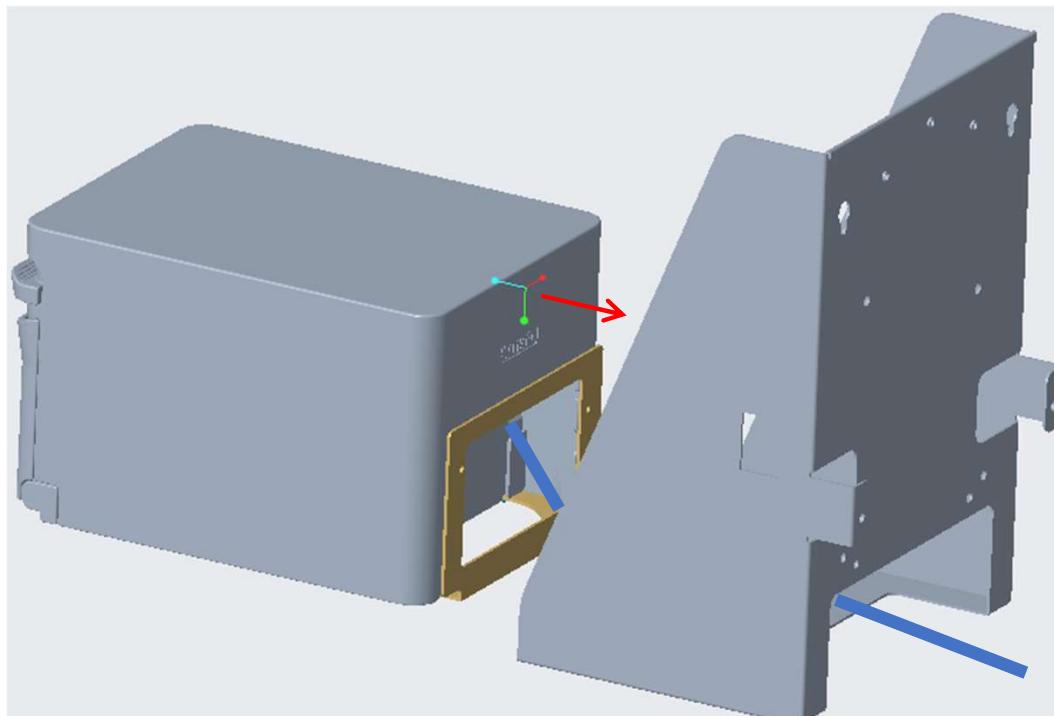
30で取り外した標準のプリンターブラケットにE196515に同梱のラバーフット(高さ4mm)を2枚貼る。



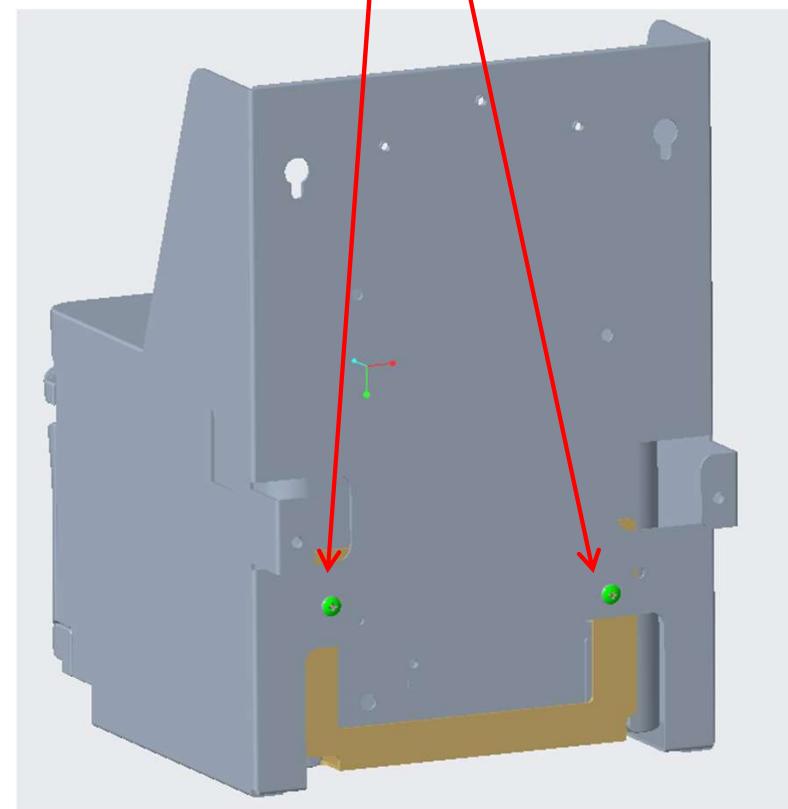
**43**

41で組み立てたプリンターを40で貼りつけたラバーフットの上に置き、標準のプリンターブラケットの奥に入れる。

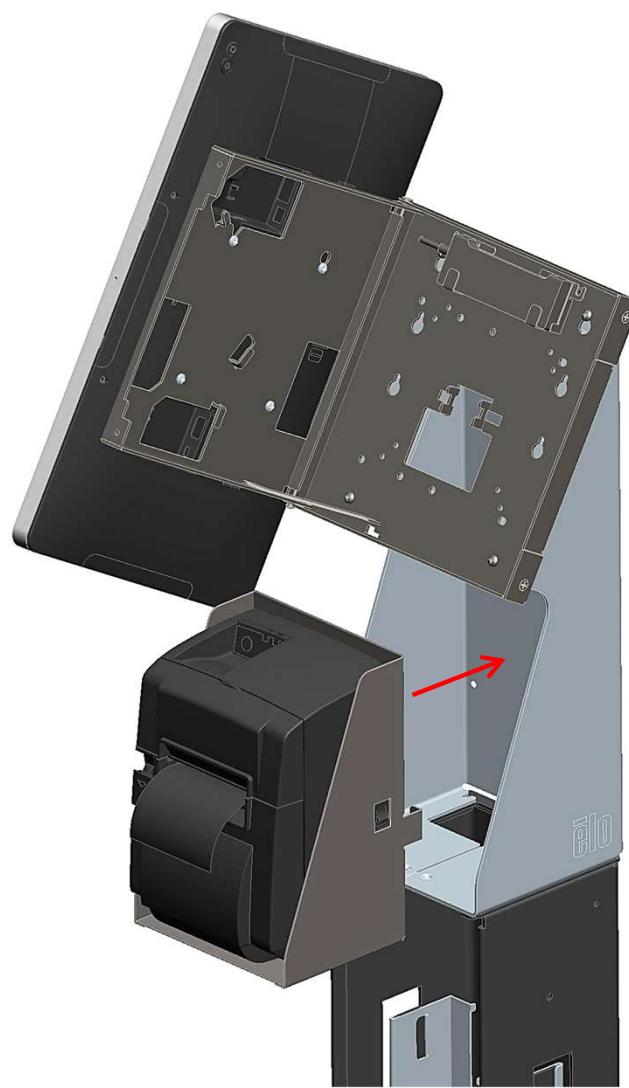
その際、ケーブルは青色の位置を通します。

**44**

E196515に同梱のM3ネジ(BagQ)2本で、背面からブラケットに固定する。

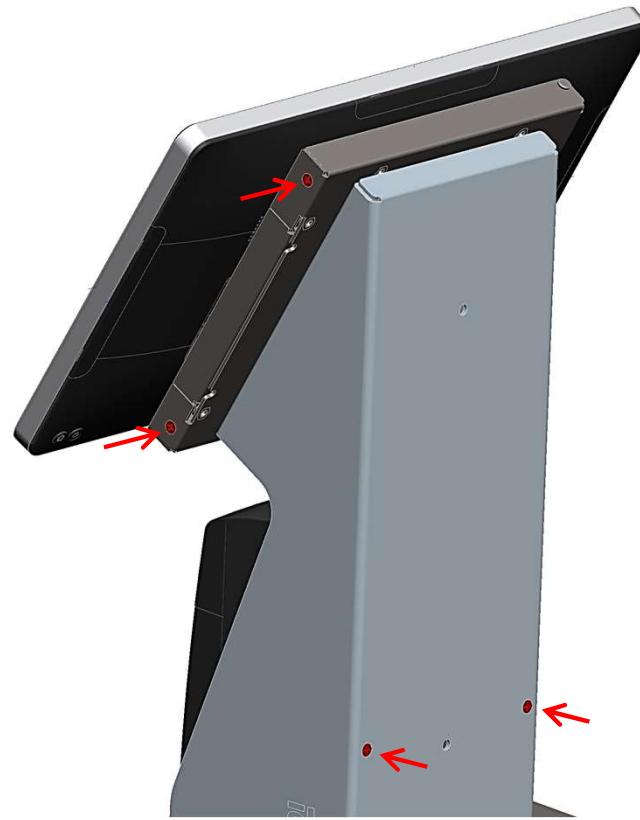
**step 50に進む**

50



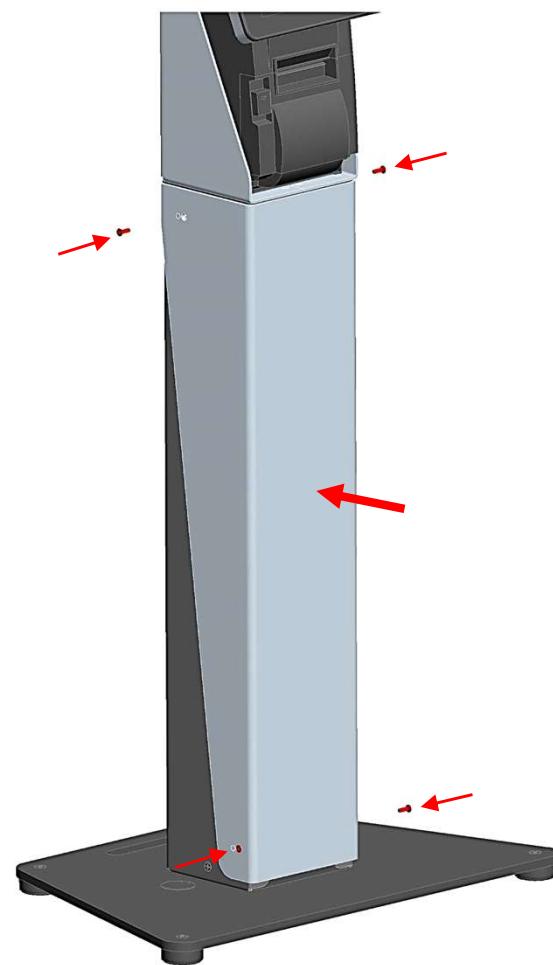
プリンターの配線を行い、プリンター部を挿入する。

51



ディスプレイブラケットを閉じ、ネジ2本(赤表示)で固定し、  
ネジ2本(赤表示)でプリンター部を背面から固定する。

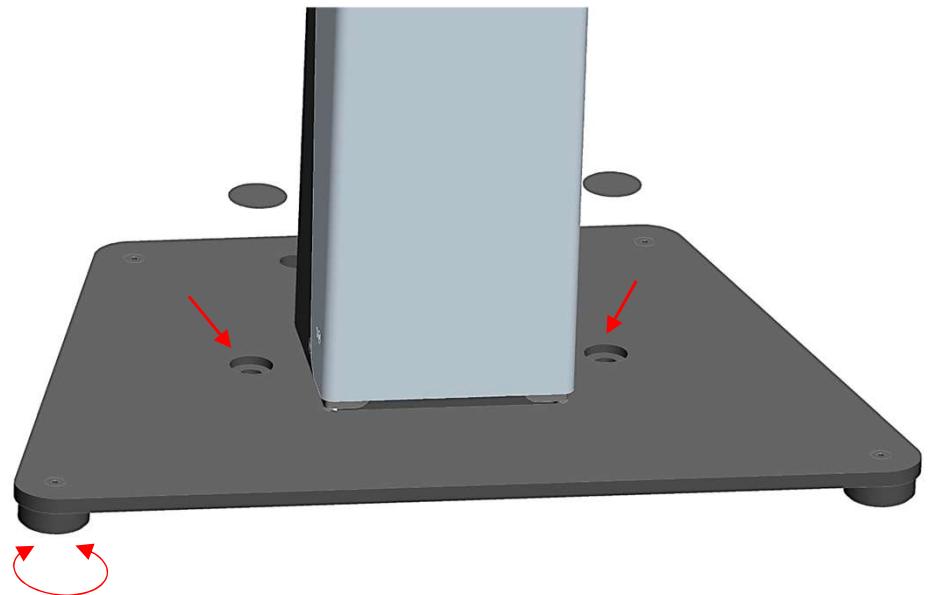
52



フロントカバーを取り付け、ネジ4本(赤表示)で固定する。

備考)フロントカバーを押し付けた状態では  
4か所のネジ穴の位置が合わせにくい場合があります  
ので、注意して下さい。

53

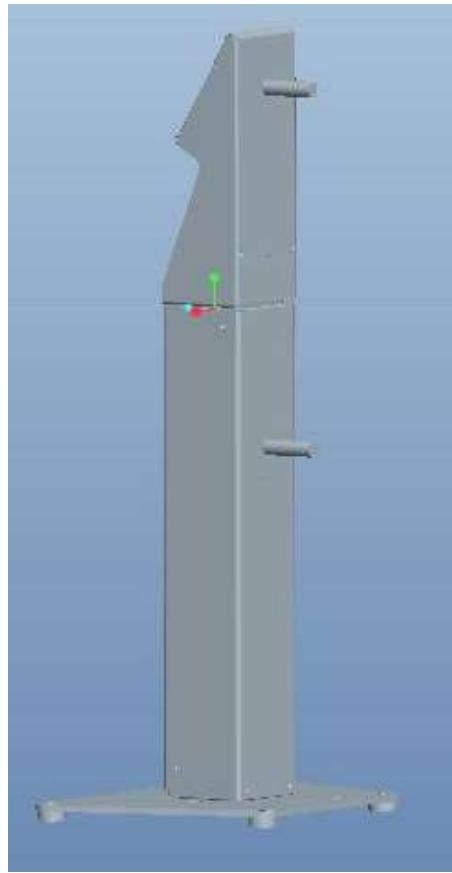


必要な場合、高さをアジャストしたり、ボルトで  
固定する。

# 広告用パネル取り付け手順

elo

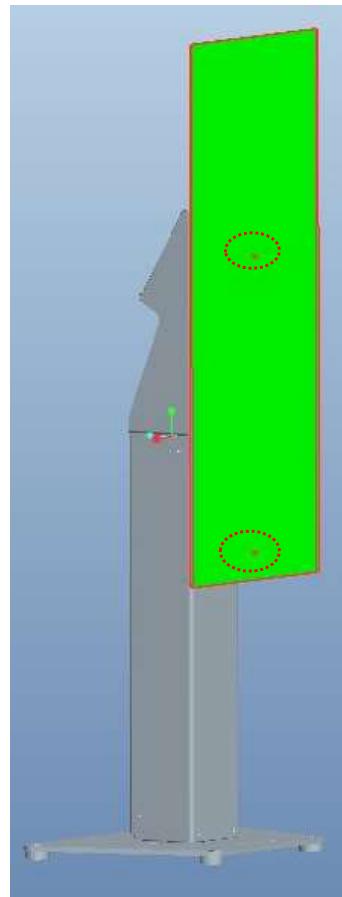
A



同梱のM6のネジを用いて  
金属スペーサーを取り付ける。

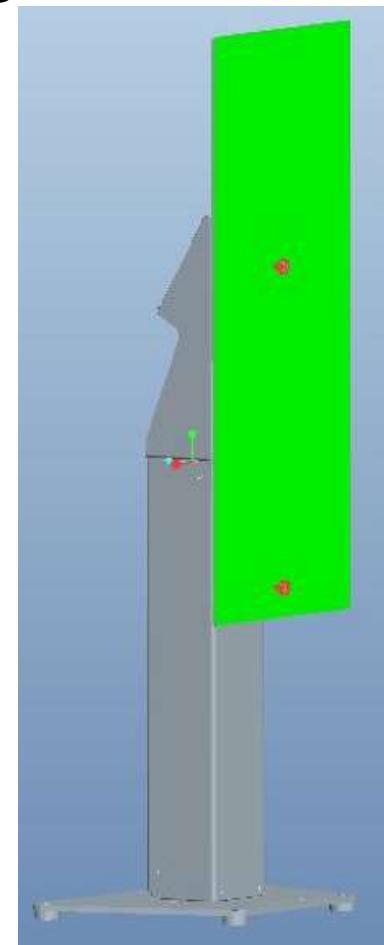
備考)広告パネル用の同梱品を使用してください。

C



金属スピーサーのM6のネジ穴の  
位置に穴を設けた広告用のパネ  
ル(緑色の部分)を準備する。  
備考)同梱されていません。

C

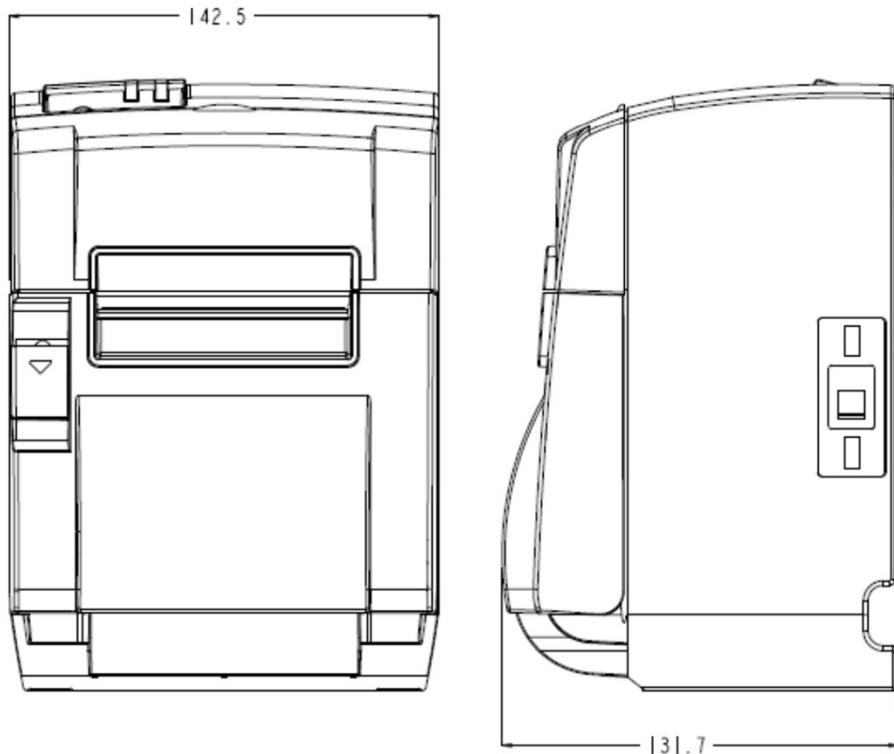
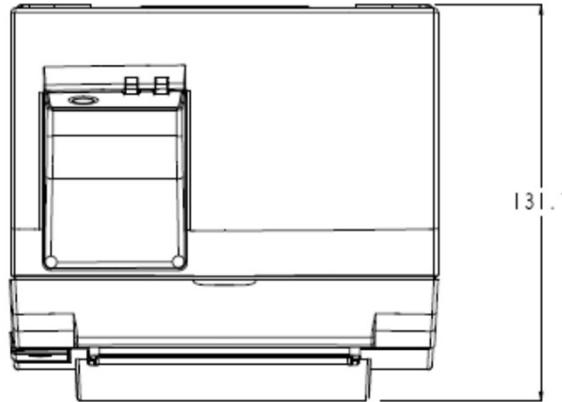


同梱のつまみネジ(赤表示)を用いて  
広告用パネルを固定する。

# 適合するStar製プリンター形状

elo

本製品に同梱のブラケットで使用可能なStar製プリンターは以下の形状のものになります。

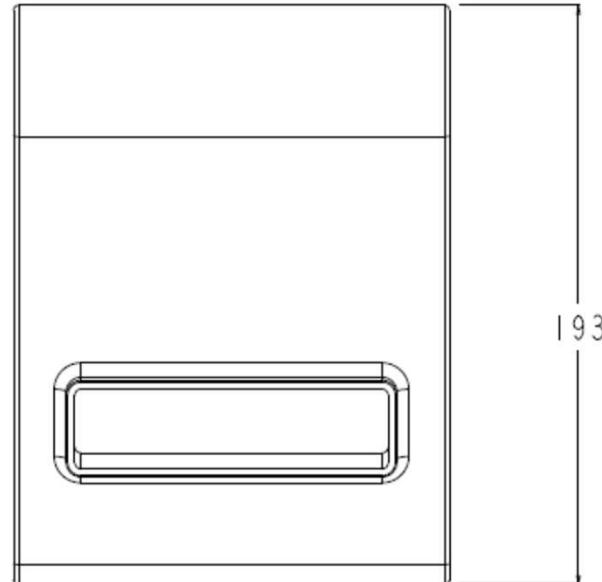


UM600679 rev.E2

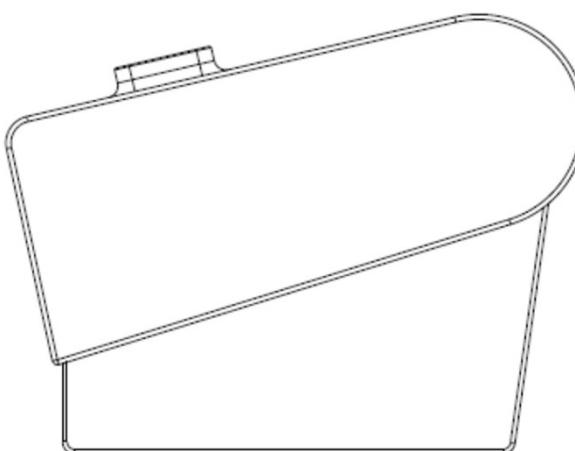
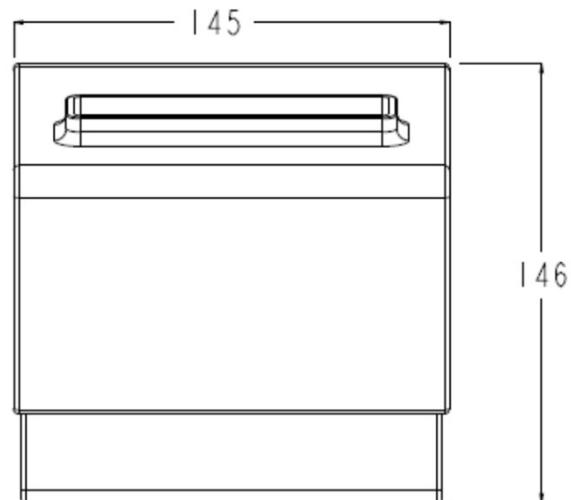
# 適合するEpson TM-T88シリーズプリンター

elo

本製品に同梱のブラケットで使用可能なEPSON製プリンターTM-T88シリーズは以下の形状のものになります。

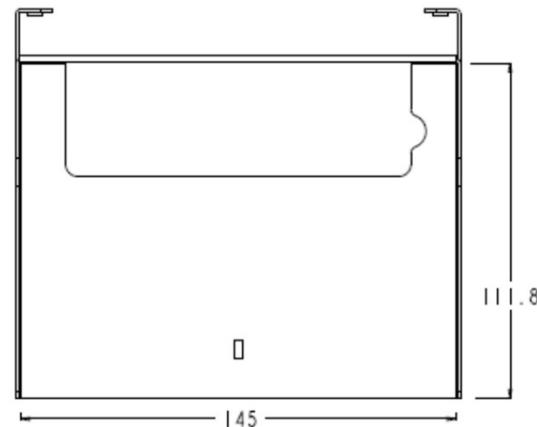


備考)突起部は省略してあります。

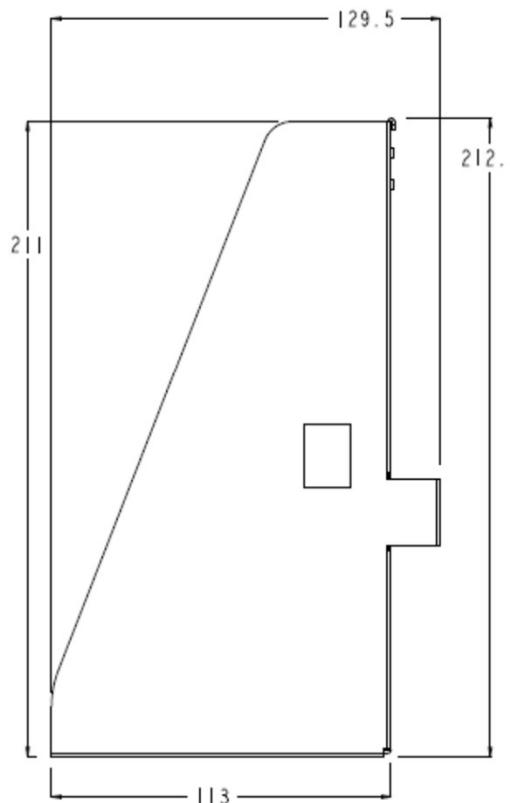
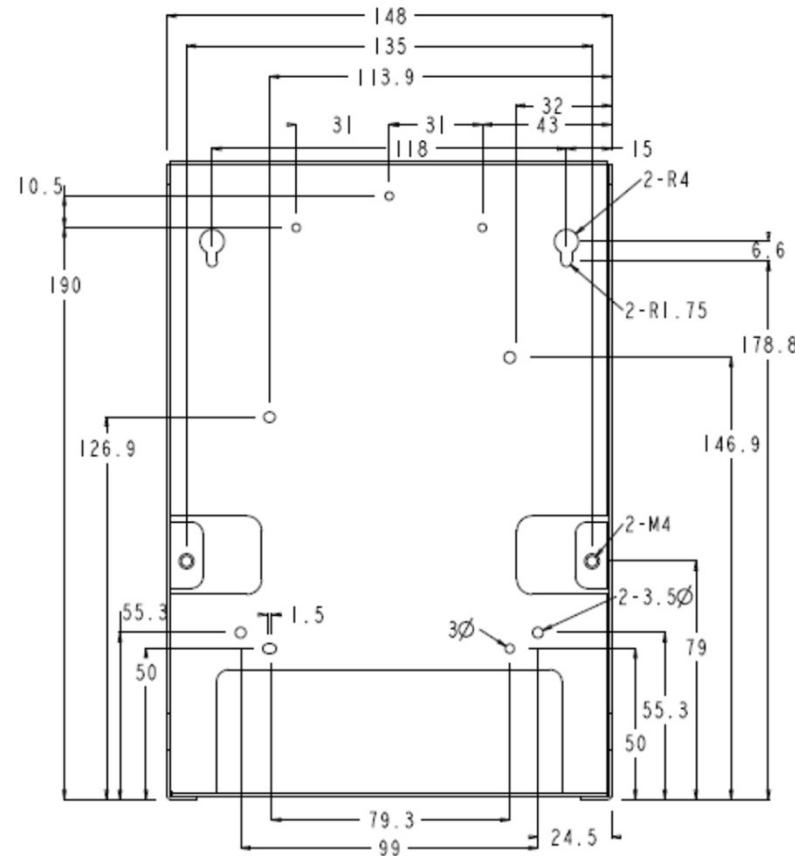


# 同梱されるプリンターブラケット形状

elo



Printer Bracket



UM600679 rev.E2

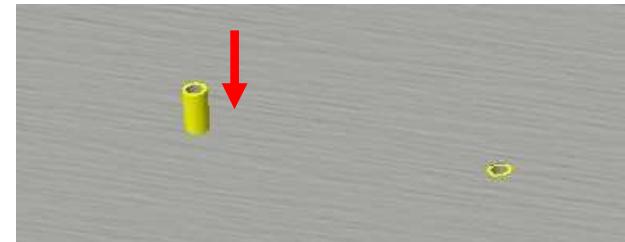
# アンカー固定の例(本体打ち込み式アンカーの場合)

elo

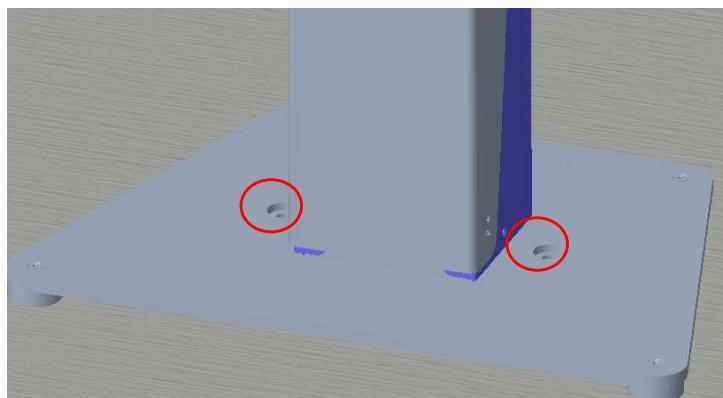
- A-1** 固定するコンクリート面に孔を220mm間隔で、  
2か所あけ、内部を掃除する。  
(孔の外形は、使用するアンカー使用による)  
備考)60mm程度の長さのM12ボルトを推奨します。  
(ベースプレートが約20mmコンクリート面と離れているため)



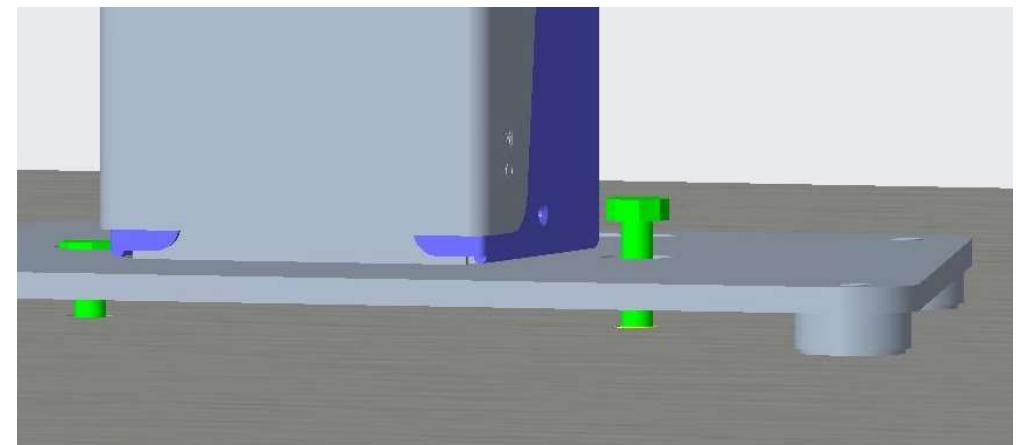
- A-2** 専用の工具で、コンクリート内に打ち込む。



- A-3** スタンドベース部のカバー2か所を外して、  
スタンドをコンクリート面に置く。



- A-4** ボルト2本を締め、転倒防止を行う。  
備考)ボルトヘッド部は25φ以下を推奨。



UM600679 rev.E2